

高所作業車 検査・整備基準値表

ま え が き

建設荷役車両による労働災害を防止するため、昭和 52 年に特定自主検査制度が導入されました。

その後、平成 2 年 9 月に労働安全衛生法施行令及び関係法令が改正され、特定自主検査の対象として解体用機械であるブレーカ、コンクリートポンプ車、不整地運搬車及び高所作業車の 4 種類の機械が追加されました。

さらに、平成 25 年 4 月に労働安全衛生規則が改正され、特自検の対象となる解体用機械として、ブレーカに加え、鉄骨切断機、コンクリート圧砕機及び解体用つかみ機の 3 種類が新たに追加され、同年 7 月から施行されました。

本書は、厚生労働大臣公示の「定期自主検査指針」における判断基準として必要とされる「検査・整備基準値表」掲載し、今般D版を発行することとしました。

本書が関係者の間で広く活用されて、特定自主検査が的確に行われることにより、労働災害の防止に寄与することを切望します。

最後に、本書の発行にあたりご尽力いただいた委員の方々に対し、心から感謝の意を表します。

令和 2 年 3 月

公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会
会 長 酒 井 信 介

今回の改訂に御尽頂いた委員の方々は次のとおりです。

委 員	伊佐 尚之	株式会社アイチコーポレーション
〃	香川 強	株式会社タダノ
〃	柿元 貴志	株式会社豊田自動織機
〃	和田 伸明	長野工業株式会社
〃	安中 英雄	北越工業株式会社
事 務 局	赤池 洋次	公益社団法人建設荷役車両安全技術協会
〃	佐口 慶典	〃
〃	牛田 孝史	〃

検査・整備基準値表の利用上の留意事項

1. 「基準値表」の表示

- (1) 「基準値表」の表示はメーカー（ア～オ順）ごとにまとめています。
- (2) 同一メーカー内の表示はタイプ別に概ね 小→大に分類してあり、各メーカーの巻末には検査の際の機械姿勢を図形表示してあります。
- (3) 各ページは、機械のサイズごとに2ページ分の見開きで表示してあります。
左ページの左端に項目を表記し、同サイズの機械のモデル数が多くて収まりきれない場合には2ページの見開き単位で追加してあります。

2. 収録モデルの範囲

(1) 時期的な収録範囲

この「検査・整備基準値表」は、平成26年10月から令和元年9月末の間に販売または発売されたモデルが収録されています。

(2) モデルサイズの収録範囲

この「検査・整備基準値表」には、日本国内市場で販売している、高所作業車をクローラ式、ホイール式、トラック式に分けて収録してあります。

3. 「検査・整備基準値表」の項目の選定

定期自主検査指針（平成3年7月付け公示13号）において「メーカーの定める基準値」と表記してある項目を収録してその基準値を数値で表示することを原則としていますが、追加収録する項目の選定及び基準値の表記方法等はメーカーの自主判断に委ねてあります。

凡 例

単位は、国際単位系（SI 単位系）に基づく新計量法（平成 4 年 5 月 20 日 法律第 51 号）による。

主要 S I 単位項目別換算表

項目	A. 力		B. 力のモーメント		C. 圧力		D. 応力			E. 仕事率	
	従来単位	S I 単位	従来単位	S I 単位	従来単位	S I 単位	従来単位	S I 単位		従来単位	S I 単位
単位	kgf	N	kgf・m	N・m	kgf/cm ²	Pa	kgf/mm ²	N/m ²	N/mm ²	P S	k W
換算値	1	9.80665	1	9.80665	1	98066.5	1	9806650	9.80665	1	0.7355
	0.101972	1	0.101972	1	0.000102	1	0.00000101972	1	0.000001	1.3596	1
							0.101972	1000000	1		
記入項目例	牽引力 引張張力 1kgf=9.80665N		締め付けトルク エンジントルク		リリース圧力 空気圧 175kgf/cm2=17.2MPa					エンジン出力 1PS=0.7355kW	

単位の接続語（主要単位）

S I 単位の接続語は、S I 単位の倍数を示す。

（たとえば MP a の M は、1 MP a = 1 × 10⁶ P a = 1,000,000 P a となる。）

名称	記号	単位に乘じる倍数	単位数	名称	記号	単位に乘じる倍	単位数
ギガ	G	1 0 ⁹	1,000,000,000	デシ	d	1 0 ⁻¹	0.1
メガ	M	1 0 ⁶	1,000,000	センチ	c	1 0 ⁻²	0.01
キロ	k	1 0 ³	1,000	ミリ	m	1 0 ⁻³	0.001
ヘクト	h	1 0 ²	100	マイクロ	μ	1 0 ⁻⁶	0.000001
デカ	d a	1 0	10	ナノ	n	1 0 ⁻⁹	0.000000001

高所作業車 検査・整備基準値表

目 次

(株)アイチコーポレーション	クローラ式（内燃機式）SR10C1SM～ ……	2
	ホイール式（内燃機式）SP10C1SN～ ……	6
	クローラ式（蓄電池式）RM04C1NS～ ……	8
	ホイール式（蓄電池式）SV06DNS～ ……	10
	トラック式 SH10C1RN～ ……	12
	トラック式 SK10C1RN～ ……	16
(株) タ ダ ノ	ホイール式（内燃機式）AW-250TG-3～ ……	24
	トラック式（TG）AT-100TG-4～ ……	28
	トラック式（CG）AT-157CG-1～ ……	32
	トラック式（TT）AT-80TT-3～ ……	36
	トラック式（TE/CE）AT-110TE-4～ ……	40
	トラック式（SD）AT-100SR-2～ ……	44
	トラック式（BT）BT-110-1～ ……	48
(株)豊田自動織機	ホイール式（内燃機式）5JD9～ ……	56
長野工業(株)	クローラ式（内燃機式）NUL13Suj～ ……	62
	クローラ式（蓄電池式）NUX06uj～ ……	64
北越工業(株)	クローラ式（蓄電池式）ENCL040-3～ ……	68
	ホイール式（蓄電池式）ENTL040-3～ ……	72

アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名			SR10C1SM	SR12C1SM	SR19CSM	SR21CSM	
		適用号機又はスペック番号			STD	STD	STD	STD	
		最大作業床高さ（m）			9.8	12.1	18.7	20.7	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値				
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1350	1350	950	950	
			ハイアイドル	min ⁻¹	2400	2400	2000	2000	
		弁すき間	吸気弁	mm	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	
			排気弁	mm	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	
		圧縮圧力		Mpa (kgf/cm ²)	3.43 (35)	3.43 (35)	3.43 (35)	3.43 (35)	
		燃料噴射圧力		Mpa (kgf/cm ²)	— —	— —	— —	— —	
		回転速度		min ⁻¹	250	250	250	250	
	冷却装置	ファン駆動ベルト張り		mm	10～13	10～13	10～13	10～13	
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	98 (10)	98 (10)	98 (10)	98 (10)	
走行装置	履帯 クローラベルト	鉄シュール	張り（たわみ量）※5		mm	160～170	160～170	280～310	280～310
			クローラリンクピッチ （4リンクピッチ）※8		mm	—	—	700	700
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—	—	
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	—	—	—	—	
作業装置	ブーム	スライディング パッド部がた	上下方向		mm	0.5～0.9	0.5～0.9	0.6～1.1	0.6～1.1
			左右方向	上側	mm	0.5～0.9	0.5～0.9	0.3～0.8	0.3～0.8
				下側	mm	0.5～0.9	0.5～0.9	0.3～0.8	0.3～0.8
		スライディングパッド		摩耗量	mm	2.0	2.0	2.0	2.0
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	首振り側	Mpa (kg/cm ²)	— —	— —	20.6 (210)	20.6 (210)	
			走行側	Mpa (kg/cm ²)	20.6 (210)	20.6 (210)	34.3 (350)	34.3 (350)	
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	1350	1350	1400	1400	
			高速	min ⁻¹	2400	2400	2000	2000	
		※作動油		—	VG22	VG22	VG22	VG22	
		油温		℃	40±10	40±10	40±10	40±10	
	油圧シリンダー	自然降下量 ※1	起伏	mm/10min	2.0	2.0	2.0	2.0	
			伸縮	mm/10min	2.0	2.0	2.0	2.0	
			平衡装置	mm/10min	2.0	2.0	2.0	2.0	
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	
			左右	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	
	走行規制	起伏45度以上			—	—	○	○	
		ブーム伸長1.0m 以上＋起伏5度以上			—	—	○	○	
	高速走行規制	ブーム姿勢	起伏角	°	—	—	5度以上	5度以上	
			伸縮	m	—	—	1.0m以上	1.0m以上	
作業範囲 規制装置	作業範囲規制 ※9		—	—	—	○	○		
	モーメントリミッタ ※9		—	—	—	—	—		

クローラ式（内燃機式）

SR21CJM								
STD								
20.7								
検 査 基 準 値								
950								
2000								
0.15～0.25								
0.15～0.25								
3.43 (35)								
—								
—								
250								
10～13								
98 (10)								
280～310								
700								
—								
—								
0.6～1.1								
0.3～0.8								
0.3～0.8								
2.0								
20.6 (210)								
34.3 (350)								
1400								
2000								
VG22								
40±10								
2								
2								
2								
3.0±0.5								
3.0±0.5								
○								
○								
5度以上								
1.0m以上								
○								
—								

アイチコーポレーション

適 用 範 囲		モ デ ル 名		SR10C1SM	SR12C1SM	SR19CSM	SR21CSM	
		適用号機又はスペック番号		STD	STD	STD	STD	
		最大作業床高さ（m）		9.8	12.1	18.7	20.7	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検 査 基 準 値			
総合テスト	作動速度 測定方法 ※2	起伏(リフト)	上	s	35±6	35±6	40±6	40±6
			下	s	35±6	35±6	40±6	40±6
		伸縮	伸	s	25±5	25±5	35±6	40±6
			縮	s	25±5	25±5	35±6	40±6
		旋回	右	s	80±6	80±6	80±12	80±12
			左	s	80±6	80±6	80±12	80±12
		ジブ起伏	上	s	—	—	—	—
			下	s	—	—	—	—
		バスケット首振	右	s	25±5	13±4	15±3	15±3
			左	s	25±5	13±4	15±3	15±3
		走行	高	km/h	1.5±0.3	1.5±0.3	1.8±0.3	1.8±0.3
			低	km/h	0.9±0.2	0.9±0.2	0.5±0.1	0.5±0.1

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法はモデルやウエイトの重量によって異なります。

測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

クローラ式（内燃機式）

SR21CJM								
STD								
20.7								
検 査 基 準 値								
40±6								
40±6								
40±6								
40±6								
80±12								
80±12								
30±5								
30±5								
15±3								
15±3								
1.8±0.3								
0.5±0.1								

アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名			SP10C1SN	SP12C1SN	SP19CSM	SP21CSM
		適用号機又はスペック番号			STD	STD	STD	STD
		最大作業床高さ (m)			9.9	12	19.0	21.0
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1000	1000	950	950
			ハイアイドル	min ⁻¹	2400	2400	1750	1750
		弁すき間	吸気弁	mm	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25
			排気弁	mm	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25
		圧縮圧力		Mpa (kgf/cm ²)	3.24 (33)	3.24 (33)	3.43 (35)	3.43 (35)
		燃料噴射圧力		Mpa (kgf/cm ²)	— —	— —	— —	— —
		※回転速度		min ⁻¹	250	250	250	250
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	10～13	10～13	10～13	10～13
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	98 (10)	98 (10)	98 (10)	98 (10)
走行装置	ホイール	ソリッドタイヤ	空気圧	—	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—	—
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間		mm	—	—	—	—
		最低停止保持勾配		°	15.0	15.0	12.0	12.0
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下方向	mm	0.5～1.0	0.5～1.0	0.6～1.1	0.6～1.1
			左右方向	上側	mm	0.5～0.9	0.5～0.9	0.3～0.8
				下側	mm	0.5～0.9	0.5～0.9	0.3～0.8
		スライディングパッド	摩耗量	mm	2.0	2.0	2.0	2.0
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa (kg/cm ²)	20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	1400	1400	1400	1400
			高速	min ⁻¹	2400	2400	1750	1750
		※作動油		—	VG22	VG22	VG22	VG22
		油温		°C	40±10	40±10	40±10	40±10
	油圧シリンダー	自然降下量 ※1	起伏	mm/10min	2	2	2	2
			伸縮	mm/10min	2	2	2	2
			平衡装置	mm/10min	2	2	2	2
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5
			左右	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5
	高速走行規制	ブーム姿勢	起伏角		起伏10度以上	起伏10度以上	起伏10度以上	起伏10度以上
			伸縮		ブーム全縮以外	ブーム全縮以外	ブーム全縮以外	ブーム全縮以外
	作業範囲 規制装置	作業範囲規制 ※9		—	—	—	○	○
総合テスト	作動速度 測定方法 ※2	起伏(リフト)	上	s	40±6	40±6	40±6	40±6
			下	s	40±6	40±6	40±6	40±6
		伸縮	伸	s	20±5	25±5	35±5	40±6
			縮	s	20±5	25±5	30±5	40±6
		旋回	右	s	60±9	60±9	80±12	80±12
			左	s	60±9	60±9	80±12	80±12
		バスケット首振	右	s	15±3	15±3	15±4	15±4
			左	s	15±3	15±3	15±4	15±4
		走行	高	km/h	4±0.4	4±0.4	4±0.6	4±0.6
			低	km/h	0.7±0.1	0.7±0.1	1±0.2	1±0.2

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法はモデルやウエイトの重量によって異なります。

測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

ホイール式（内燃機式）

SP25CSM	SP300	SP350	WZ09ASM					
STD	STD	STD	STD					
25.0	30.0	35.0	9.2					
検 査 基 準 値								
950	1000	1000	950					
1750	2000	2000	1750					
0.15～0.25	0.4	0.4	0.15～0.25					
0.15～0.25	0.4	0.4	0.15～0.25					
3.43 (35)	3.0 (31)	3.0 (31)	3.43 (35)					
— —	18.1 (185)	18.1 (185)	22.1 (225)					
250	200	200	250					
10～13	8～12	8～12	10～13					
98 (10)	98 (10)	98 (10)	98 (10)					
ノーバンク	ノーバンク	ノーバンク	ノーバンク					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
12.0	7.5	7.0	15.0					
0.6～1.1	0.5～3.0	0.5～3.0	1.2～1.7					
1～2	1.1～2.9	1.1～2.9	0.2～1.0					
6～7	1.1～2.9	1.1～2.9	0.2～1.0					
2.0	2.0	2.0	2.0					
20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)					
1400	1400	1400	1250					
1750	2000	2000	1700					
VG22	VG22	VG22	VG22					
40±10	40±10	40±10	40±10					
2	2	2	2					
2	2	2	2					
2	2	2	2					
3.0±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5	3.0±0.5					
3.0±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5	3.0±0.5					
起伏5度以上	起伏3度以上	起伏3度以上	格納姿勢以外					
ブーム全縮以外	ブーム全縮以外	ブーム全縮以外	ブーム全縮以外					
○	○	○	—					
—	—	—	○					
50±7	40±6	45±7	30±6					
50±7	40±6	45±7	35±6					
60±9	70±10.5	80±12	30±6					
60±9	45±6.8	480±12	30±6					
94±14	60±6	90±14	—					
94±14	60±6	90±14	—					
15±4	18±5	20±6	45±9					
15±4	18±5	20±6	45±9					
4±0.6	4±1.2	4±1.2	7.2±0.8					
1±0.2	0.5±0.15	0.5±0.15	1.2±0.2					

アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名		RM04C1NS	RM05C1NS		
		適用号機又はスペック番号		STD	STD		
		最大作業床高さ（m）		3.8	4.80		
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値		
電動機	モーター （ドライブ）	ブラシ高さ 許容限界寸法		mm	7.0	— ACモータ	
	駆動用ベルト	駆動用チェーンのたわみ(左) ※7		mm	60リンク 14±5	89リンク 23±5	
		駆動用チェーンのたわみ(右) ※7		mm	84リンク 22±5	67リンク 16±5	
	バッテリー	電圧		V	24	24	
	充電装置	電圧検出リレーの作動電圧		V	28.8	28.8	
	ヒューズ	走行主回路用		A	150	150	
		制御主回路用		A	5、15	5、15	
走行装置	履帯 クローラベルト	ゴムベルト張り(たわみ量) 履帯浮かせ、中心トラッククローラとの隙間寸法 ※6		mm	20±5	40±5	
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	20	20	
作業装置	マスト	スライディングパッド 部のガタ	マスト上側	mm	0～2.3	0～2.3	
			マスト下側	mm	0～2.3	0～2.3	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	1.0	1.0	
油圧装置	油圧ポンプ	昇降	吐出圧	MPa (kgf/cm ²)	8.8 (90)	13.7 (140)	
			※作動油	—	VG22	VG22	
			油温	℃	40±10	40±10	
	油圧シリンダー	自然降下量	リフトシリンダー	mm/10min	2	2	
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	2±0.5	2±0.5	
			左右		2±0.5	2±0.5	
	過積載 防止装置	作動重量		N	2450	2450	
				(kgf)	(250)	(250)	
	作業床 規制装置	格納検知		—	○	○	
		走行規制検知		—	—	—	
		上限規制検知		—	—	—	
総合テスト	作動速度	昇降	上昇	s	25±5	32±6	
			下降	s	18±4	23±5	
		走行	高速	km/h	2.0±0.3	2.0±0.3	
			低速	km/h	0.65±0.15	0.3±0.1	
		直進性 ※4		mm/10m	500以下	500以下	

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法はモデルやウエイトの重量によって異なります。
測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名			SV06DNS	SV06DNL	S08DNL	SV08DWL
		適用号機又はスペック番号			STD	STD	STD	STD
		最大作業床高さ（m）			5.8	6.1	7.9	7.9
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
電動機	駆動用ベルト	駆動用チェーンのたわみ ※7		mm	—	—	—	—
	バッテリー	電圧		V	24	24	24	24
	充電装置	電圧検出リレーの作動電圧		V	28.8	28.8	28.8	28.8
	ヒューズ	走行・上昇主回路用		A	200	200	200	200
		制御主回路用		A	10	10	10	10
	ホイール	ソリッドタイヤ	空気圧	—	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—	—
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間		mm	—	—	—	—
		最低停止保持勾配		°	14	14	14	14
作業装置	マスト	スライディングパッド	マスト上側	mm	—	—	—	—
		部がた	マスト下側	mm	—	—	—	—
		スライディングパッド	摩耗量	mm	—	—	—	—
油圧装置	油圧ポンプ	メイン	吐出圧	MPa (kgf/cm²)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)
		ステアリング	吐出圧	MPa (kgf/cm²)	— —	— —	— —	— —
		※作動油		—	VG22	VG22	VG22	VG22
		油温		℃	40±10	40±10	40±10	40±10
	油圧シリンダー	自然降下量	リフトシリンダー	mm/10min	2	2	2	2
安全装置	車体傾斜角 警報装置	前後方向作動	角度	°	3 ^{+0.5 0}	3 ^{+0.5 0}	3 ^{+0.5 0}	3 ^{+0.5 0}
		左右方向作動	角度 揚程	° m	1.5 ^{+0.5 0} —	1.5 ^{+0.5 0} —	1.5 ^{+0.5 0} —	1.5 ^{+0.5 0} —
	過積載 防止装置	作動重量	重量	N (kgf)	2647 (270)	4216 (430)	2942 (300)	5295 (540)
			揚程	m	1.7	1.7	2.2	2.1
		揚程規制作動	重量	N (kgf)	—	—	—	—
			揚程	m	—	—	—	—
		重荷重モード	重量	N (kgf)	—	—	—	—
			揚程	m	—	—	—	—
	作業床 規制装置	格納検知		—	○	○	○	○
		走行規制検知		—	—	—	—	—
		上限規制検知		—	○	○	○	○
総合テスト	作動速度	昇降	上昇	s	25±5	30±6	40±8	44±9
			下降	s	25±5	30±6	40±8	40±8
		走行	高速	km/h	4.5±0.7	4.5±0.7	4.5±0.7	3.6±0.5
			低速	km/h	0.8±0.1	0.8±0.1	1.0±0.2	0.8±0.1

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法はモデルやウエイトの重量によって異なります。
測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

ホイール式（蓄電池式）

SV10DWL	SV06E1NS	SV06E1NL	SV08E1NL	SV08E1WL	SV10E1WL	WM04C1NS	WM05C1NS	
STD	STD	STD	STD	STD	STD	STD	STD	
9.59	5.72	6.1	7.77	7.92	9.68	3.80	4.78	
検 査 基 準 値								
—	—	—	—	—	—	16±5	16±5	
24	24	24	24	24	24	24	24	
28.8	28.8	28.8	28.8	28.8	28.8	28.8	28.8	
200	300	300	300	300	300	200	200	
10	10	10	10	10	10	10	10	
ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
14	14	14	14	14	14	8	8	
—	—	—	—	—	—	0～2.3	0～2.3	
—	—	—	—	—	—	0～2.3	0～2.3	
—	—	—	—	—	—	1.0	1.0	
18.1 (185)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)	8.8 (90)	13.7 (140)	
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	4.6 (46)	
VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	
40±10	30±10	30±10	30±10	30±10	30±10	30±10	30±10	
2	2	2	2	2	2	2	2	
3 ^{+0.5} ₀	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0±0.5	2.0±0.5	
1.5 ^{+0.5} ₀ —	3.0～4.0 2.7以下	3.0～4.0 3.0以下	3.0～4.0 4.0以下	3.0～4.0 6.0以下	3.0～4.0 6.0以下	2.0±0.5 —	2.0±0.5 —	
5295 (540) 2.1	2647 (270) 2.3	4216 (430) 1.6	2647 (270) 1.9	5295 (540) 2.0	3726 (380) 2.0	— —	— —	
3725 (380) 6.7～7.9	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	
— — —	— — —	— — —	— — —	— — —	5295 (540) 7.6～7.9	— — —	— — —	
○	○	○	○	○	○	○	○	
—	—	—	—	—	—	—	—	
○	○	○	○	○	○	○	○	
51±10	26±5	28±6	33±7	40±8	55±11	25±5	32±6	
50±10	30±6	40±8	40±8	50±10	60±12	18±4	23±5	
3.6±0.5	4.5±0.7	4.5±0.7	4.5±0.7	4.0±0.6	4.0±0.6	3.0±0.3	3.0±0.3	
0.8±0.1	0.8±0.1	0.8±0.1	0.8±0.1	0.8±0.1	0.8±0.1	0.65±0.15	0.65±0.15	

アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名			SH10C1RN	SH11C1RN	SH12A	SH12C1RN	
		適用号機又はスペック番号			STD	STD	STD	STD	
		最大作業床高さ（m）			9.9	11	12.0	12.1	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm	0.6	0.6	0.5～0.9	0.6	
			左右	mm	0.6	0.6	0.5～0.9	0.6	
		2nd 先端ローラ部のがた	左右	mm	—	—	—	—	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	2.0	2.0	2.0	2.0	
	バケット	積載			kg	200	200	200	200
	油圧ポンプ	吐出圧			MPa (kg/cm ²)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.6 (180)
		※ポンプ回転数			min ⁻¹	750 ⁺⁵⁰ ₀	750 ⁺⁵⁰ ₀	800 ⁺⁵⁰ ₀	900 ⁺⁵⁰ ₀
		作動油			—	VG22	VG22	VG22	VG22
		油温			℃	40±10	40±10	40±10	40±10
	油圧シリンダー	自然降下量 ※1	起伏	mm	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	
			伸縮	mm	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	
			ジャッキ	mm	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下	
			アーム起伏	mm	—	—	—	—	
			ウインチ起伏	mm	—	—	—	—	
安全装置	アースリール線	抵抗値			Ω	—	—	—	—
	作業範囲 規制装置	作業範囲規制 ※9			—	○	—	—	—
		モーメントリミッタ ※9			—	—	—	—	—
	インターロック	ジャッキインターロック			—	○	○	○	○
		ブームインターロック			—	○	○	○	○
駐車ブレーキインターロック			—	—	—	—	—		
作業機用エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	低	min ⁻¹	1300	1300	—	—	
			中	min ⁻¹	—	—	—	—	
			高	min ⁻¹	1650	1650	—	—	
		弁すき間	吸気弁	mm	0.25	0.25	—	—	
			排気弁	mm	0.25	0.25	—	—	
		圧縮圧力			Mpa (kgf/cm ²)	2.7 28	2.7 28	— —	— —
		燃料噴射圧力			Mpa (kgf/cm ²)	14.2 145	14.2 145	— —	— —
		※回転速度			min ⁻¹	280	280	—	—
		冷却装置	ファン駆動ベルト張り			mm	10	10	—
	※ベルト押し付け力			N (kgf)	98 10.0	98 10.0	— —	— —	

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法は張り幅や、ウェイトの重量によって異なります。
測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

トラック式

SH15C1FS	SN15B	SN15C1FS						
STD	STD	STD						
14.6	14.6	14.6						
検 査 基 準 値								
0.6	1.0	1.0						
0.6	2.0	2.0						
—	0.0	0.0						
2.0	2.0	2.0						
250	250	250						
17.6 (180)	17.6 (180)	17.6 (180)						
995 $\begin{smallmatrix} +50 \\ 0 \end{smallmatrix}$	900 $\begin{smallmatrix} +50 \\ 0 \end{smallmatrix}$	900 $\begin{smallmatrix} +50 \\ 0 \end{smallmatrix}$						
VG15	VG15	VG15						
40±10	40±10	40±10						
2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下						
2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下						
1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下						
—	—							
2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下						
1Ω 以下	1Ω 以下	1Ω 以下						
—	—							
○	○	○						
○	○	○						
○	○	○						
—	—							
1350 $\begin{smallmatrix} +50 \\ 0 \end{smallmatrix}$	1350 $\begin{smallmatrix} +50 \\ 0 \end{smallmatrix}$	1350 $\begin{smallmatrix} +50 \\ 0 \end{smallmatrix}$						
1500 $\begin{smallmatrix} +50 \\ 0 \end{smallmatrix}$	1500 $\begin{smallmatrix} +50 \\ 0 \end{smallmatrix}$	1500 $\begin{smallmatrix} +50 \\ 0 \end{smallmatrix}$						
1650 $\begin{smallmatrix} +50 \\ 0 \end{smallmatrix}$	1650 $\begin{smallmatrix} +50 \\ 0 \end{smallmatrix}$	1650 $\begin{smallmatrix} +50 \\ 0 \end{smallmatrix}$						
0.25	0.25	0.25						
0.25	0.25	0.25						
2.9	2.9	2.9						
(30)	(30)	(30)						
14.2-15.0 145~153	14.2-15.0 145~153	14.2-15.0 145~153						
290	290	290						
10~12	10~12	10~12						
98 (10)	98 (10)	98 (10)						

アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名		SH10C1RN	SH11C1RN	SH12A	SH12C1RN	
		適用号機又はスペック番号		STD	STD	STD	STD	
		最大作業床高さ（m）		9.9	11	12.0	12.1	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
総合テスト	作動速度	起伏 ※2－1	上	s	－	－	30±5	－
			下	s	－	－	30±5	－
		起伏 ※2－6	上	s	21±4	21±4	－	26 ⁺⁴ _{－5}
			下	s	21±4	21±4	－	26 ⁺⁴ _{－5}
		旋回 ※2－2	右	s	50±10	50±10	60±10	60±10
			左	s	50±10	50±10	60±10	60±10
		伸縮 ※2－3	伸	s	18±5	18±5	25±3	25±3
			縮	s	18±5	18±5	20±3	20±3
		アーム旋回	右	s	－	－	－	－
			左	s	－	－	－	－
		バケット首振 ※2－4	右	s	18±5	18±5	20±5	20±5
			左	s	18±5	18±5	20±5	20±5
		バケット昇降速度	上	s	－	－	－	
			下	s	－	－	－	
		ウインチ起伏速度	起	s	－	－	－	
			伏	s	－	－	－	
		ウインチ旋回速度	右	s	－	－	－	
			左	s	－	－	－	

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法はモデルやウエイトの重量によって異なります。
測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

トラック式

SH15C1FS	SN15B	SN15C1FS						
STD	STD	STD						
14.6	14.6	14.6						
検 査 基 準 値								
35±5	35±5	35±5						
35±5	35±5	35±5						
—	—	—						
—	—	—						
50±10	50±10	50±10						
50±10	50±10	50±10						
33±5	33±5	33±5						
25±5	25±5	25±5						
—	20±5	20±5						
—	20±5	20±5						
10±5	13±5	13±5						
10±5	13±5	13±5						
6±3	6^{+3}_{-2}	6^{+3}_{-2}						
6±3	6^{+3}_{-2}	6^{+3}_{-2}						
6±3	6^{+3}_{-2}	6^{+3}_{-2}						
8±3	8^{+3}_{-2}	8^{+3}_{-2}						
7±4	14^{+3}_{-4}	14^{+3}_{-4}						
7±4	14^{+3}_{-4}	14^{+3}_{-4}						

アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名			SK10C1RN	SK10C2RN	SK11C1FN	SK12C1FN	
		適用号機又はスペック番号			STD	STD	STD	STD	
		最大作業床高さ（m）			9.9	9.9		12.1	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm	0.6	0.6	0.6	0.6	
			左右	mm	0.6	0.6	0.6	0.6	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	2.0	2.0	2.0	2.0	
	バケット	積載			kg	200	200	200	200
	油圧ポンプ	吐出圧			MPa (kg/cm ²)	17.2 (175)	17.2 (175)	18.6 (190)	17.2 (175)
		ポンプ回転数			min ⁻¹	750 ^{+50 0}	750 ^{+50 0}	750 ^{+50 0}	750 ^{+50 0}
		※作動油			—	VG22	VG22	VG22	VG22
		油温			℃	40±10	40±10	40±10	40±10
	油圧シリンダー	自然降下量※1	起伏	mm	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	
			伸縮	mm	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	
			ジャッキ	mm	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下	
			ウインチ起伏	mm	—	—	—	—	
安全装置	アースリール線	抵抗値			Ω	—	—	—	—
	作業範囲規制装置	作業範囲規制 ※9			—	○	○	—	—
		モーメントリミッタ ※9			—	—	—	—	—
	インターロック	ジャッキインターロック			—	○	○	○	○
		ブームインターロック			—	○	○	○	○
駐車ブレーキインターロック			—	—	—	—	—		
総合テスト	作動速度上部	起伏※2－1	上	s	—	—	—	—	
			下	s	—	—	—	—	
		起伏※2－6	上	s	21±4	21±4	21±4	26 ^{+4 -5}	
			下	s	21±4	21±4	21±4	26 ^{+4 -5}	
		旋回※2－2	右	s	50±10	50±10	50±10	60±10	
			左	s	50±10	50±10	50±10	60±10	
		伸縮※2－3	伸	s	18±5	15±5	18±5	25±3	
			縮	s	18±5	15±5	18±5	20±3	
		屈伸:アーム※2－7	開	s	—	—	—	—	
			閉	s	—	—	—	—	
		バケット首振※2－4	右	s	18±5	18±5	18±5	20±5	
			左	s	18±5	18±5	18±5	20±5	
		プラットフォーム旋回※2－5	右	s	—	—	—	—	
			左	s	—	—	—	—	

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法は張り幅や、ウエイトの重量によって異なります。
測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

トラック式

SK12C1RN	SS12A	SJ30ARS	TZ10C1RS	TZ10C1RR	TZ12C1RS	TZ12C1RR	TZ16C1FS	TZ20C1FS
STD	728267～	STD	STD	STD	STD	STD	STD	STD
12.1	11.9	30.6	9.8	9.8	12.0	12.0	15.6	19.7
検 査 基 準 値								
0.6	0.5～0.9	0.6	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9
0.6	0.5～0.9	0.6	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9
2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
200	200	200	1000	1000	1000	1000	1000	1000
17.2 (175)	18.6 (190)	20.8 (212)	17.6 (180)	17.6 (180)	17.6 (180)	17.6 (180)	18.6 (190)	18.6 (190)
750 $^{+50}_0$	750 $^{+50}_0$	900 $^{+50}_0$	900 $^{+50}_0$	900 $^{+50}_0$	900 $^{+50}_0$	900 $^{+50}_0$	1150 $^{+50}_0$	1100 $^{+50}_0$
VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22
40±10	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10
2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下
2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下	2/10min 以下
1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下	1/10min 以下
—	—	2/10min 以下	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	○	—	—	—	—	—	—
—	—	—	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	30±10	55±9	—	—	—	—	—	—
—	30±10	45±7	—	—	—	—	—	—
26 $^{+4}_{-5}$	—	—	40 $^{+6}_0$	40 $^{+6}_0$	40 $^{+6}_0$	40 $^{+6}_0$	26 $^{+4}_{-5}$	26 $^{+4}_{-5}$
26 $^{+4}_{-5}$	—	—	45 $^{+6}_0$	45 $^{+6}_0$	45 $^{+6}_0$	45 $^{+6}_0$	26 $^{+4}_{-5}$	26 $^{+4}_{-5}$
60±10	60±10	60±10	60±3	60±3	60±3	60±3	60±10	60±10
60±10	60±10	60±10	60±3	60±3	60±3	60±3	60±10	60±10
25±3	30±10	65±11	25±3	25±3	30±3	30±3	25±3	25±3
20±3	25±10	55±9	25±3	25±3	30±3	30±3	20±3	20±3
—	—	60±10	—	—	—	—	—	—
—	—	60±10	—	—	—	—	—	—
20±5	25±10	14±5	—	—	—	—	—	—
20±5	25±10	14±5	—	—	—	—	—	—
—	—	—	60±3	60±3	60±3	60±3	60±3	67±3
—	—	—	60±3	60±3	60±3	60±3	60±3	67±3

アイチコーポレーション

※ 1. シリンダー自然降下量

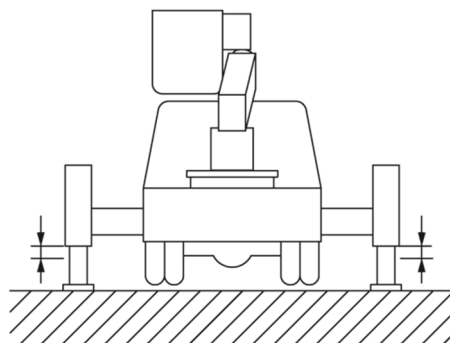
1) ジャッキシリンダー

[測定要領]

- (1) 車体を水平堅度土上にセットする。
- (2) エンジン停止させる
- (3) ジャッキレバーを「入」に数回操作し、残圧を抜く
- (4) ジャッキポストにマーキングまたは、ダイヤルゲージをセットする
- (5) 1 分後、0 点を合わせる
- (6) 10 分経過させる
- (7) 自然降下量を測定する
(前右、前左、後右、後左)

[判定基準]

ジャッキポストのストロークにて
1mm 以内/10 分



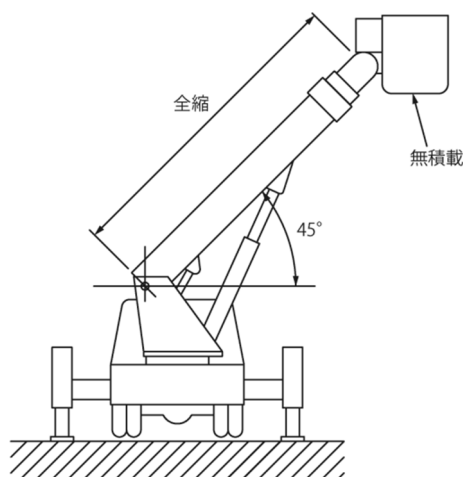
2) 起伏シリンダー

[測定要領]

- (1) ブームを起伏各 45° にセットする
- (2) エンジン停止させる
- (3) 起伏シリンダーのロッドにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする
- (4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる
- (5) 10 分経過させる
- (6) 自然降下量を測定する

[判定基準]

ピストンロッドのストロークにて
2mm 以内/10 分



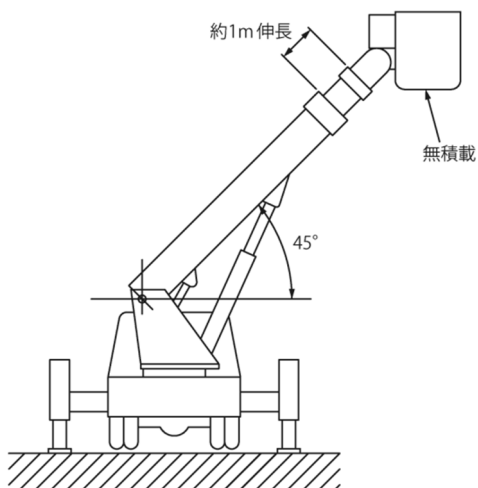
3) 伸縮シリンダー

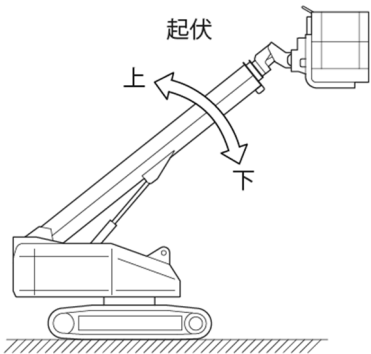
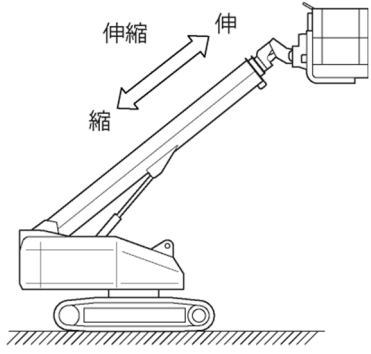
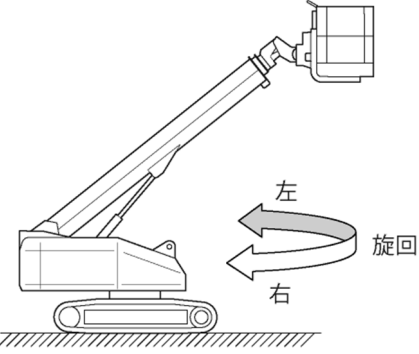
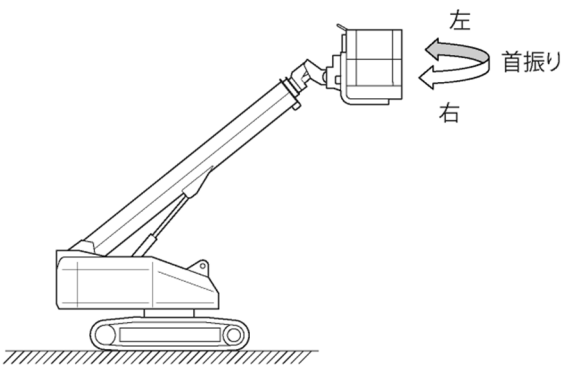
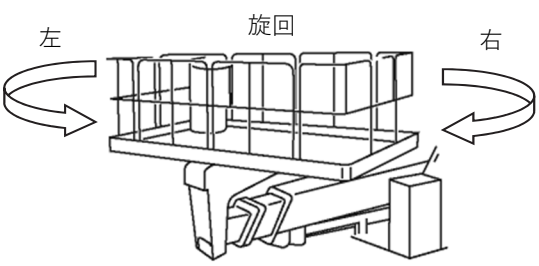
[測定要領]

- (1) ブームを起伏各 45° にセットする
- (2) ブーム長さを 1m にセットする
- (3) エンジン停止させる
- (4) 第 2 ブームにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする
- (4) 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる
- (5) 10 分経過させる
- (6) 自然降下量を測定する

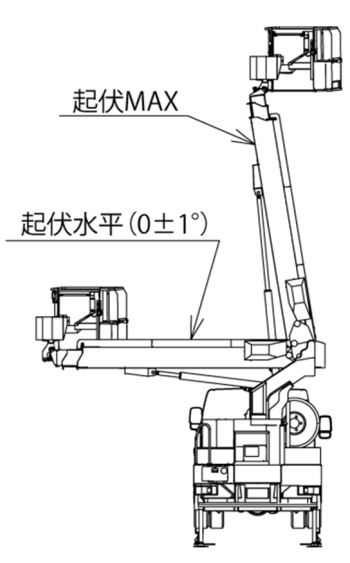
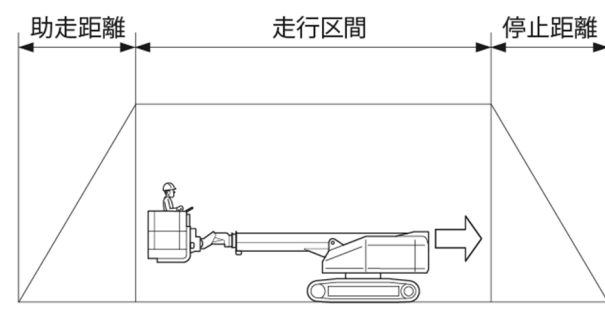
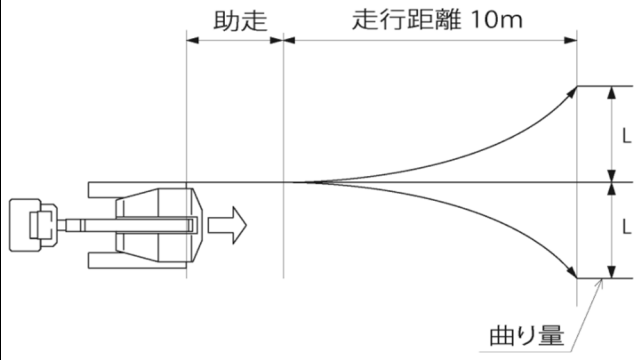
[判定基準]

第 2 ブームのストロークにて
2mm 以内/10 分



※2. 速度測定方法 [測定要領] (1) 車体を水平堅度土上にセットする。 (2) 作業車の作業範囲に障害物が無いことを確認する (3) 油温は $40 \pm 10^{\circ}\text{C}$ で行なう 1) ブーム起伏速度 (1) ブーム全縮状態で、起伏下操作により「下」エンド下げる (2) 起伏上操作にて「上」エンドまでの時間を測定する	
2) ブーム伸縮速度 (1) ブームを全縮状態で起伏上操作により「上」エンドまで上げる (2) 伸操作により「伸」エンドまでの時間を測定する (3) 縮操作により「縮」エンドまでの時間を測定する	
3) ブーム旋回速度 (1) ブームを全縮、起エンドの状態にする (2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する (3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう	
4) 首振り速度 (1) 首振操作にて右エンド～左エンドまでの作動時間を測定する (2) 首振り右操作、左操作共に行なう	
5) プラットフォーム旋回速度 (1) ブームを全縮、起エンドの状態にする (2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する (3) ブーム右旋回、左旋回共に行なう	

アイチコーポレーション

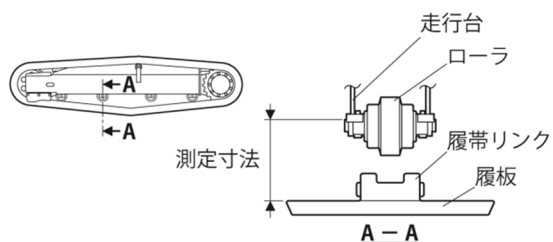
6) ブーム起伏速度 (1) ブーム全縮状態・首振り格納、起伏MAX位置から起伏下操作により「下」→起伏水平停止 ($0 \pm 1^\circ$) 位置までの時間を測定する。 (2) 起伏水平位置より、起伏上操作にて「上」→起伏MAX位置までの時間を測定する	 起伏MAX 起伏水平 ($0 \pm 1^\circ$)
※3. 走行速度測定方法 [測定要領] 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する 3) 車両が最大速度になるまで助走させる 4) 速度が安定した走行区間の速度を測定する ※ブームの姿勢や切り替えスイッチを切り替え「高速」、「低速」を行う	 助走距離 走行区間 停止距離
※4. 走行直進性測定方法 [測定要領] 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する 3) 車両が最大速度になるまで助走させる 4) 最高速度で約 10m 走行させ曲がった距離を測定する	 助走 走行距離 10m L L 曲り量

※ 5. 履帯たわみ測定方法

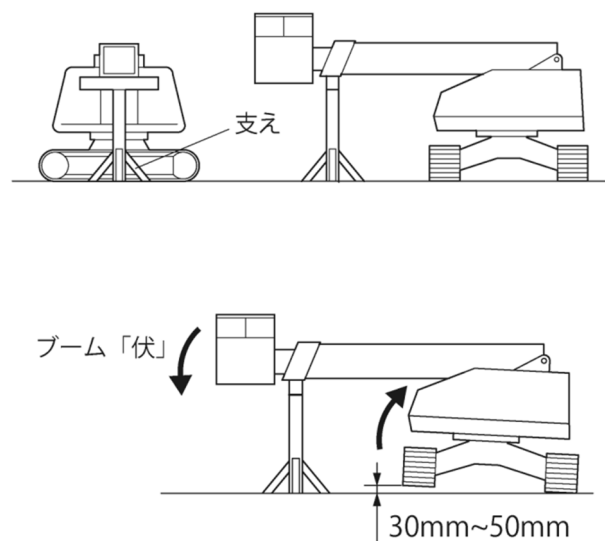
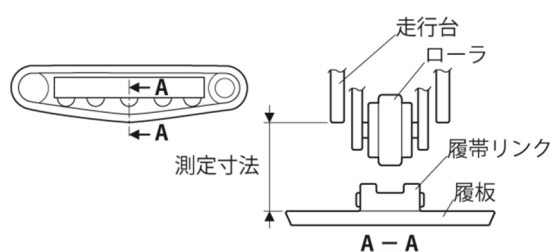
[測定要領]

- (1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
- (2) 第1ブーム先端部に支柱セットする
- (3) ブーム「伏」操作を行い履帯を地面から 30mm~50mm 浮かせたわみ量の測定をする

1) SR10CSM、SR12CSM



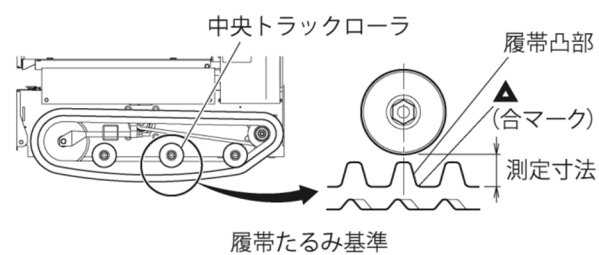
2) SR19CSM/21CSM/21CJM



※ 6. 小型履帯たわみ測定方法

[測定要領]

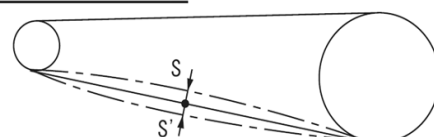
- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にフレームを上げた (60 mm以上) 状態保ちクローラ▲合マークを本気中央下側に合わせ測定



※ 7. 走行駆動用チェーンたわみ測定方法

- 1) スプロケット上側チェーンを張るように、前進及び後進して停止
- 2) 下側チェーン sprocket 間の中央位置を $9 \pm 1 \text{ kgf}$ にて押し引きし、S-S' 間寸法を測定してください。

チェーン張り基準

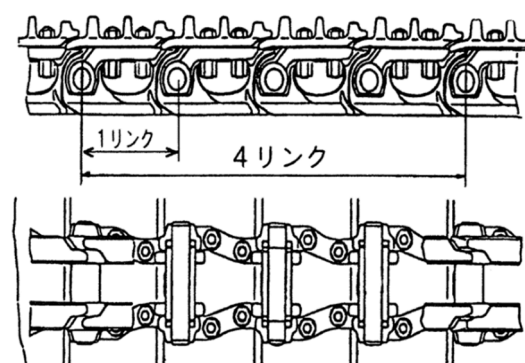


※ 8. 鉄製履帯リンクピッチ測定方法

[測定要領]

- 1) マスタピンから1～2リンク離れた4リンク分を測定する

注. シューリンクを張った状態で測定すること。



※ 9. 作業半径測定方法

[検査機器]

1. 角度計
2. 巻尺
3. 重垂
4. 水系

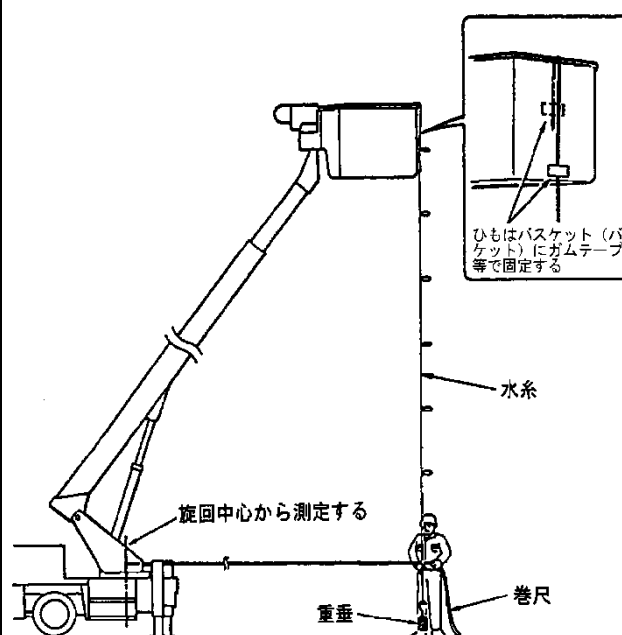
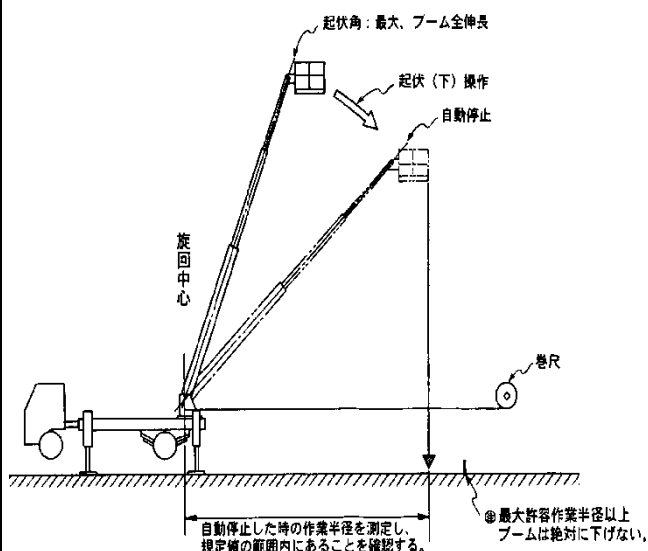
※測定値や測定方法はモデルによって異なります
また同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても異なります

[測定例 L-MAX]

※測定はL-MAX（ブーム全伸長）の他にL-MIN（起伏角水平）があります。

詳細はサービスマニュアルを参照してください

- 1) 車両を水平堅土上にセットする
- 2) ジャッキにより全タイヤを地切りさせる
- 3) 車体は前後左右水平にセットする
(張り幅によって測定値、測定方法が異なります)
- 4) バケットにウエイトを積載する
(機種、仕様により異なっているので各機種のデータを参照のこと)
- 5) ブームの操作は下操作で行なう
- 6) ブーム操作は低速にて行なう
- 7) ブームが自動停止した作業半径を測定する
- 8) 規定の作業半径（最大許容作業半径）に達しても、ブームの作動が停止しない場合は操作をやめ、作業半径が大きくなる側への操作は絶対に行なわないこと
- 9) 測定後ブームを操作する際は、ブームを全縮にした後、旋回操作を行なうこと



適用範囲		モデル名			AW-250TG-3	AW-250TG-4	AW-370TG-3	AW-370TG-4	
		仕様			STD仕様	STD仕様	STD仕様	STD仕様	
		適用号機			420465～	420482～	HE0228～	HE0313～	
		最大作業床高さ（m）			25.0	25.0	37.4	37.4	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値				
エンジン	エンジン本体	エンジン	アクセルH／走行リーフ	min ⁻¹	1700±25	—	1700±25	—	
		回転速度	アクセルH／ブーム全縮リーフ	min ⁻¹	—	1700±20	—	1700±20	
		弁すき間 ※冷態時	吸気弁	mm	0.25	エンジンに異常を感じる場合は、エンジンメーカーへ依頼	0.25	エンジンに異常を感じる場合は、エンジンメーカーへ依頼	
			排気弁	mm	0.25		0.25		
		圧縮圧力		Mpa (kgf/cm ²)	2.8～3.2 (29～33)		2.8～3.2 (29～33)		
		※回転速度		min ⁻¹	300	300			
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	12	10～12	12	10～12	
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	98 (10)	59～68 (6～7)	98 (10)	59～68 (6～7)	
	バッテリー	比重 ※液温20℃		—	1.22以上	1.22以上	1.22以上	1.22以上	
走行装置	ホイール	ソリッドタイヤ	摩耗量	—	ノーパンクタイヤ	ノーパンクタイヤ	ノーパンクタイヤ	ノーパンクタイヤ	
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—	—	
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間		mm	—	—	—	—	
		最低停止可能勾配		°	1/5勾配 11° 19′	1/5勾配 11° 19′	1/5勾配 11° 19′	1/5勾配 11° 19′	
作業装置	ブーム	スライディングパッド部のがた	上下方向	mm	3以下	3以下	3以下	3以下	
			左右方向	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	—	—	—	—	
		ラップ部底板へこみ（ ）は4段ブーム	セカンド	mm	3以下	3以下	4以下	4以下	
			トップ(サード)	mm	2.5以下	2.5以下	(3以下)	(3以下)	
			(トップ)	mm	—	—	2.5以下	2.5以下	
		局部へこみ 但し、へこみ長さは50mm 以上		mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		調整用ナット 締付けトルク	縮側	サード トップ	N・m (kgf・m)	伸縮ワイヤ 調整要領参照	伸縮ワイヤ 調整要領参照	伸縮ワイヤ 調整要領参照	伸縮ワイヤ 調整要領参照
	伸側		サード トップ						
	伸縮ワイヤたるみ	セカンド、トップ(サード)ブームの伸長差 ※ブーム水平状態でセカンドブームを全縮より約10cm 伸長する。			mm	10以下	10以下	10以下	10以下
	平衡装置	①起伏上げ操作にて作業床の測定位置を決める。 ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床基準値を測定する。 ③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。 ④測定位置へ起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の角度変位量を測定する。			°	1° 以下	1° 以下	1° 以下	1° 以下
		上記⑤の状態よりスタートする。 ⑥ブーム起伏角を約10° 上げる。 ⑦測定位置へ起伏下げ操作で停止させる。 ⑧作業床の角度変位量を測定する。				2° 以下	2° 以下	2° 以下	2° 以下

タダノ

適用範囲		モデル名			AW-250TG-3	AW-250TG-4	AW-370TG-3	AW-370TG-4	
		仕様			STD仕様	STD仕様	STD仕様	STD仕様	
		適用号機			420465～	420482～	HE0228～	HE0313～	
		最大作業床高さ（m）			25.0	25.0	37.4	37.4	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値			
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	No1 ポンプ	ブーム全縮水平、4輪に歯止めをし、下部操作で低速前進操作	Mpa (kgf/cm ²)	22.5±0.5 (230±5)	22.5±0.5 (230±5)	23.5±0.5 (240±5)	23.5±0.5 (240±5)
			No2 ポンプ	右ステアリングストロークエンド操作、アクセル低速 ※ジャッキ装置無し		15.7±0.5 (160±5)	15.7±0.5 (160±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)
				右ステアリングストロークエンド操作、アクセル低速 ※ジャッキ装置有り		15.7±0.5 (160±5)	15.7±0.5 (160±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)
		油温			℃	40±5	40±5	40±5	40±5
		ポンプ回転数 ☆は走行リリーフ時 ★はブーム全縮リリーフ時。		高速	min ⁻¹	☆1700±25	★1700±20	☆1700±25	★1700±20
				低速		☆1025±25	★1000±20	☆1025±25	★1000±20
	油圧シリンダー 作業床は無負荷レバー操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止時の自然降下量	自然降下量 ※1(添付資料)	起伏 ※ブーム水平全縮状態		mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下
			伸縮 ※起伏最大角状態・ブーム約10cm 伸長状態		mm/10min	3以下	3以下	3以下	3以下
			平衡装置 ※ブーム水平全縮状態・セレクトバルブは開		mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下
安全装置	車体傾斜角 警報装置	ブーム起伏角 10° 以下			°	4.5±0.5以上	4.5±0.5以上	4.5±0.5以上	4.5±0.5以上
		ブーム起伏角 10° 以上			°	3±0.5以上	3±0.5以上	3±0.5以上	3±0.5以上
	走行規制装置	仕様により、モーメント・車体傾斜角・起伏角、作業半径による規制。個々の仕様により判定。			—	確認	確認	確認	確認
	作業範囲 規制装置	測定方法 ※4(添付資料)	規制装置	作業範囲規制	—	—	—	—	—
				モーメントリミッタ	—	AMC3	AMC4	AMC3	AMC4
	タッチスイッチ	スイッチを作動させるバスケット中央部のワイヤロープ変位量			mm	30±10	30±10	30±10	30±10
	速度規制装置	走行中にブーム起伏角度が10° を越える状態では微速モードとなる事を確認する。			—	確認	確認	確認	確認
旋回警報装置 走行警報装置	ブーム旋回・走行操作を行うとブザーが断続音で鳴る。			—	確認	確認	確認	確認	
総合テスト	作動速度 ※2(添付資料)	起伏 ※ブーム全縮		上	s	50±5	50±5	52±5	52±5
		伸縮 ※起伏角度最大		伸	s	62±6	62±6	93±9	93±9
		旋回 ※起伏角度最大、 ブーム全縮	右	s	75±8	75±8	75±8	75±8	
			左						
		バケット首振速度		右	s	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動
				左					
前進 ※10m 区間、ブーム全縮 起伏角度水平、高速走行				s/10m	8±2	8±2	8±2	8±2	

注) 作動速度、ポンプ回転数および作業範囲規制装置の測定方法は諸条件等によって異なります。
詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-100TG-4	AT-100TG-5	AT-121TG-3	AT-121TG-3	
		仕様			STD仕様	STD仕様	F格納 STD仕様	R格納 STD仕様	
		適用号機			HK0698～	HK0718～	HJ2951～	HJ2974～	
		最大作業床高さ（m）			9.9	9.9	12.2	12.3	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディングパッド部のがた	上下方向	mm	3以下	3以下	3以下	3以下	
			左右方向	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	—	—	—	—	
		底板ラップ部のへこみ	セカンド	mm	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	
			サード、トップ	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		局部へこみ (但し、へこみ長さは50mm以上)		mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
	伸縮ワイヤたるみ	セカンド、トップ(サード)ブームの伸長差 (ブーム水平状態でセカンドブームを全縮より約10cm伸長する。)		mm	10以下	10以下	10以下	10以下	
		調整用ナット 締付けトルク	縮側	サード トップ	N・m (kgf・m)	8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)
			伸側	サード トップ		8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)
	平衡装置	①起伏上げ操作にてブームを水平にする。		°	1°以下	1°以下	1°以下	1°以下	
		②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床傾斜角度を測定する。							
		③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。							
		④ブームを水平に起伏上げ操作で停止させる。							
		⑤作業床の傾斜角度変位量を測定する。			2.0°以下	2.0°以下	2.0°以下	2.0°以下	
		上記⑤の状態よりスタートする。							
		⑥ブーム起伏角を約10°上げる。							
		⑦ブームを水平に起伏下げ操作で停止させる。							
		⑧作業床の傾斜角度変位量を測定する。							
	増圧器	ブースタ 標準仕様		Mpa	—	—	—	—	
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧 ※ゲージポート(アウトリガバルブ またはリヤアウトリガ前側等)		Mpa (kgf/cm ²)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	16.2±0.5 (165±5)	16.2±0.5 (165±5)	
		高速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時		min ⁻¹	900±25	900±25	900±25	900±25	
		中速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時		min ⁻¹	—	—	760±20	760±20	
		低速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時		min ⁻¹	610±20	610±20	610±20	610±20	
		油温		℃	40±5	40±5	40±5	40±5	
		作動油：		—	—	—	—	—	

トラック式 (TG)

AT-121TG-4	AT-121TG-4	AT-170TG-1	AT-170TG-2	AT-220TG-1	AT-220TG-2	AT-270TG-2	AT-320TG-1	
F 格納 STD 仕様	R 格納 STD 仕様	STD 仕様	STD 仕様	STD 仕様	STD 仕様	STD 仕様	STD 仕様	
HJ5112～	HJ5057～	231039～	231121～	380902～	380925～	371168～	371222～	
12. 2	12. 3	17. 2	17. 2	22. 4	22. 4	27. 0	32. 2	
検 査 基 準 値								
3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	
—	—	—	—	—	—	—	—	
2. 5以下	2. 5以下	2. 5以下	2. 5以下	2. 5以下	2. 5以下	2. 5以下	2. 5以下	
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	
10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	
8. 3 (0. 85)	8. 3 (0. 85)	11. 8 (1. 2)	伸縮ワイヤ 調整要領参照	19 (1. 9) 4. 8 (0. 49)	伸縮ワイヤ 調整要領参照	伸縮ワイヤ 調整要領参照	伸縮ワイヤ 調整要領参照	
8. 3 (0. 85)	8. 3 (0. 85)	15. 7 (1. 6)		22 (2. 2) 6. 4 (0. 65)				
1° 以下	1° 以下	1° 以下	1° 以下	1° 以下	1° 以下	1° 以下	1° 以下	
2. 0° 以下	2. 0° 以下	2. 0° 以下	2. 0° 以下	2. 0° 以下	2. 0° 以下	2. 5° 以下	2. 0° 以下	
—	—	—	—	—	—	—	—	
16. 2±0. 5 (165±5)	16. 2±0. 5 (165±5)	17. 2±0. 5 (175±5)	17. 2±0. 5 (175±5)	17. 2±0. 5 (175±5)	17. 2±0. 5 (175±5)	17. 2±0. 5 (175±5)	17. 2±0. 5 (175±5)	
900±25	900±25	1000±25	1000±25	1000±25	1000±25	1000±25	1200±30	
760±20	760±20	750±20	750±20	750±20	750±20	860±20	950±25	
610±20	610±20	525±20	525±20	525±20	525±20	710±20	710±20	
40±5	40±5	40±5	40±5	40±5	40±5	40±5	40±5	
—	—	—	—	—	—	—	—	

適用範囲		モデル名			AT-100TG-4	AT-100TG-5	AT-121TG-3	AT-121TG-3		
		仕様			STD仕様	STD仕様	F格納 STD仕様	R格納 STD仕様		
		適用号機			HK0698～	HK0718～	HJ2951～	HJ2974～		
		最大作業床高さ（m）			9.9	9.9	12.2	12.3		
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値				
油圧装置	油圧シリンダー 作業床は無負荷、レバー操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止後の自然降下量	自然降下量 ※1(添付資料)	起伏 ※ブーム水平、全縮状態	mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下		
			伸縮 ※起伏角度最大、 ブーム約10cm伸長状態	mm/10min	3以下	3以下	3以下	3以下		
			アウトリガ・ジャッキ ※シリンダ ストロークエンド手前停止状態	mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下		
			平衡装置 ※ブーム水平、 全縮状態・セレクトバルブは開	mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下		
			ジブ起伏	mm/10min	—	—	—	—		
			屈伸 ※測定可能起伏 角度でブーム全縮状態	mm/10min	—	—	—	—		
安全装置	アースリール線		抵抗値		Ω	—	—	—	—	
	作業範囲 規制装置	測定方法 ※4(添付資料)	規制装置	作業範囲規制	—	AMC3	AMC3／AMC4	AMC3／AMC4	AMC3／AMC4	
				モーメントリミッタ	—	—	—	—	—	
	起伏角度 規制装置	200 kg 仕様	ブーム全伸における起伏 停止角度		°	—	—	—	—	
			ブーム水平時における伸 長停止長さ		mm	—	—	—	—	
	車輻・ブーム 干渉防止装置	旋回、伏、伸縮、首振りが自動停止する事。 ※ブームレスト格納付近は停止しない			—	確認	確認	確認	確認	
その他規制装置	—			—	—	—	—	—		
総合テスト	作動速度 ※2(添付資料) ※バケット・プラットフォーム側で操作 乗員1名	起伏 ※ブーム全縮		上	s	25±3	25±3	30±3	30±3	
		旋回 ※起伏角度最大 ブーム全縮		右	s	50±5	50±5	60±6	60±6	
				左	s					
		伸縮 ※起伏角度最大		伸	鉄製 ブーム	s	20±2	13±2	28±3	28±3
					FRP製 ブーム	s	—	—	—	—
		バケット首振速度		首振り	s	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	
		プラットフォーム旋回		アームスイング	s					
		折り曲げ		伸び	s	—	—	—	—	
ウインチ巻上速度 ※15m 区間、無負荷				S/15m	—	—	—	—		
低騒音エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	負荷時	min ⁻¹	—	—	—	—		
			アイドリング		—	—	—	—		
		弁すき間(冷態時)	吸気弁	mm	—	—	—	—		
			排気弁		—	—	—	—		
		圧縮圧力(スタータモータを5～10秒間回し、最大値を読む)	基準値	Mpa	—	—	—	—		
			限度	Mpa	—	—	—	—		
	警告灯(充電 水温、油圧)		—			—	—	—	—	

注) 作動速度、ポンプ回転数および作業範囲規制装置の測定方法は諸条件等によって異なります。
詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

トラック式 (TG)

AT-121TG-4	AT-121TG-4	AT-170TG-1	AT-170TG-2	AT-220TG-1	AT-220TG-2	AT-270TG-2	AT-320TG-1	
F 格納 STD 仕様	R 格納 STD 仕様	STD 仕様	STD 仕様	STD 仕様	STD 仕様	STD 仕様	STD 仕様	
HJ5112～	HJ5057～	231039～	231121～	380902～	380925～	371168～	371222～	
12. 2	12. 3	17. 2	17. 2	22. 4	22. 4	27. 0	32. 2	
検 査 基 準 値								
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	
3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	
1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	
1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
AMC4	AMC4	AMC3	—	—	—	—	—	
—	—	—	AMC4	AMC3	AMC4	AMC3／AMC4	AMC3	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認	
—	—	—	—	—	—	—	—	
30±3	30±3	35±4	35±4	50±5	50±5	50±5	60±6	
60±6	60±6	50±5	50±5	60±6	60±6	60±6	60±6	
28±3	28±3	44±4	44±4	50±5	50±5	60±6	70±7	
—	—	—	—	—	—	—	—	
円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-157CG-1	AT-195CG-1	AT-255CG-1	AT-300CG-2	
		仕様			STD仕様	STD仕様	STD仕様	STD仕様	
		適用号機			375897～	240600～	385693～	HG0067～	
		最大作業床高さ（m）			15.7	19.6	25.5	30.4	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値			
作業装置	ブーム	スライディングパッド部のがた	上下方向	mm	3以下	3以下	3以下	3以下	
			左右方向	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	—	—	—	—	
		底板ラップ部のへこみ	セカンド	mm	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	
			サード、トップ	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		局部へこみ (但し、へこみ長さは50mm 以上)			mm	2以下	2以下	2以下	2以下
	伸縮ワイヤたるみ	セカンド、トップ(サード)ブームの伸長差 (ブーム水平状態でセカンドブームを全縮より約10cm 伸長する。)			mm	10以下	10以下	10以下	10以下
		調整用ナット 締付けトルク	縮側	サード トップ	N・m (kgf・m)	11.8(1.2)	11.8(1.2)	20.5(2.1)	25.6(2.6)
			伸側	サード トップ		15.7(1.6)	15.7(1.6)	23(2.3)	35.2(3.6)
	平衡装置	①起伏上げ操作にてブームを水平にする。 ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床傾斜角度を測定する。 ③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。 ④ブームを水平に起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の傾斜角度変位量を測定する。			°	2.0° 以下	2.0° 以下	3.0° 以下	3.0° 以下
		上記⑤の状態よりスタートする。 ⑥ブーム起伏角を約10° 上げる。 ⑦ブームを水平に起伏下げ操作で停止させる。 ⑧作業床の傾斜角度変位量を測定する。				2.0° 以下	2.0° 以下	3.0° 以下	3.0° 以下
	増圧器	ブースタ 標準仕様			Mpa	—	—	—	—
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧 ※ゲージポート(アウトリガバルブ またはリヤアウトリガ前側等)			Mpa (kgf/cm ²)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.7±0.5 (180±5)	17.7±0.5 (180±5)
		高速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時			min ⁻¹	1000±25	1000±25	1020±30	1330±30
		中速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時			min ⁻¹	—	—	840±30	1070±25
		低速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時			min ⁻¹	525±20	525±20	710±30	780±20
		油温			℃	40±5	40±5	40±5	40±5
		作動油			—	—	—	—	—

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-157CG-1	AT-195CG-1	AT-255CG-1	AT-300CG-2	
		仕様			STD仕様	STD仕様	STD仕様	STD仕様	
		適用号機			375897～	240600～	385693～	HG0067～	
		最大作業床高さ（m）			15.7	19.6	25.5	30.4	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値			
油圧装置	油圧シリンダー ※作業床は無負荷、レバー操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止後の自然降下量	自然降下量 ※1(添付資料)	起伏 ※ブーム水平、全縮状態	mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下	
			伸縮 ※起伏角度最大、ブーム約10cm伸長状態	mm/10min	3以下	3以下	3以下	3以下	
			アウトリガ・ジャッキ ※シリンダストロークエンド手前停止状態	mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下	
			平衡装置 ※ブーム水平、全縮状態・セレクトバルブは開	mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下	
			ジブ起伏	mm/10min	—	—	—	—	
			屈伸 ※測定可能起伏角度でブーム全縮状態	mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下	
安全装置	アースリール線	抵抗値			Ω	—	—	—	—
	作業範囲規制装置	測定方法 ※4(添付資料)	規制装置	作業範囲規制	—	AMC3／AMC4	AMC3／AMC4	AMC3	AMC3
				モーメントリミッタ	—	—	—	—	—
	起伏角度規制装置	200 kg仕様	ブーム全伸における起伏停止角度		°	—	—	—	—
			ブーム水平時における伸長停止長さ		mm	—	—	—	—
	車輻・ブーム干渉防止装置	旋回、伏、伸縮、首振りが自動停止する事。 ※ブームレスト格納付近は停止しない			—	確認	確認	確認	確認
その他規制装置				—	—	—	—	—	
総合テスト	作動速度 ※2(添付資料) ※バケット・プラットホーム側で操作乗員1名	起伏 ※ブーム全縮		上	s	35±4	35±4	50±5	60±6
		旋回 ※起伏角度最大 ブーム全縮		右	s	60±6	60±6	60±6	60±6
				左	s				
		伸縮 ※起伏角度最大	伸	鉄製 ブーム	s	30±3	48±5	52±5	65±7
				FRP製 ブーム	s	—	—	—	—
		バケット首振速度		首振り	s	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動
		プラットホーム旋回		アームスイング	s				
		折り曲げ	伸び		s	30±3	30±3	65±7	70±7
折り曲げブーム伸び (※屈伸角度水平)				s	—	—	20±4	25±3	
低騒音エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	負荷時	min ⁻¹	—	—	—	—	
			アイドリング		—	—	—	—	
		弁すき間(冷態時)	吸気弁	mm	—	—	—	—	
			排気弁		—	—	—	—	
		圧縮圧力(スタータモータを5～10秒間回し、最大値を読む)	基準値	Mpa	—	—	—	—	
			限度	Mpa	—	—	—	—	
	警告灯(充電, 異音, 油圧)				—	—	—	—	—

注) 作動速度、ポンプ回転数および作業範囲規制装置の測定方法は諸条件等によって異なります。
詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-80TT-3	AT-100TT-5	AT-100TTE-5 AT-110TTE-5	AT-121TTE-3	
		仕様			STD仕様	STD仕様	STD仕様 又は L+PTO仕様	STD仕様	
		適用号機			HH5232～	HK0215～	HK0214～	HJ3001～	
		最大作業床高さ（m）			8.0	9.9	9.9 11.0	12.1	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディングパッド部のがた	上下方向	mm	3以下	3以下	3以下	3以下	
			左右方向	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	—	—	—	—	
		底板ラップ部のへこみ	セカンド	mm	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	
			サード、トップ	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		局部へこみ (但し、へこみ長さは50mm以上)		mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
	伸縮ワイヤたるみ	セカンド、トップ(サード)ブームの伸長差 (ブーム水平状態でセカンドブームを全縮より約10cm伸長する。)		mm	10以下	10以下	10以下	10以下	
		調整用ナット 締付けトルク	縮側	サード トップ	N・m (kgf・m)	8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)
			伸側	サード トップ		8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)
	平衡装置	①起伏上げ操作にてブームを水平にする。 ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床傾斜角度を測定する。 ③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。 ④ブームを水平に起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の傾斜角度変位量を測定する。		°	1°以下	1°以下	1°以下	1°以下	
		上記⑤の状態よりスタートする。 ⑥ブーム起伏角を約10°上げる。 ⑦ブームを水平に起伏下げ操作で停止させる。 ⑧作業床の傾斜角度変位量を測定する。			2.0°以下	2.0°以下	2.0°以下	2.0°以下	
	増圧器	ブースタ 標準仕様		Mpa	—	—	—	—	
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧 ※ゲージポート(アウトリガバルブまたはリヤアウトリガ前側等)		Mpa (kgf/cm ²)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	16.2±0.5 (165±5)	
		高速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時		min ⁻¹	900±25	900±25	900±25	900±25	
		中速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時		min ⁻¹	—	—	—	760±20	
		低速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時		min ⁻¹	610±20	610±20	610±20	610±20	
		油温		℃	40±5	40±5	40±5	40±5	
		作動油		—	—	—	—	—	

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-80TT-3	AT-100TT-5	AT-100TTE-5 AT-110TTE-5	AT-121TTE-3	
		仕様			STD仕様	STD仕様	STD仕様 又は L+PTO仕様	STD仕様	
		適用号機			HH5232～	HK0215～	HK0214～	HJ3001～	
		最大作業床高さ（m）			8.0	9.9	9.9 11.0	12.1	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値			
油圧装置	油圧シリンダー ※作業床は無負荷、レバー操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止後の自然降下量	自然降下量 ※1(添付資料)	起伏 ※ブーム水平、全縮状態	mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下	
			伸縮 ※起伏角度最大、ブーム約10cm伸長状態	mm/10min	3以下	3以下	3以下	3以下	
			アウトリガ・ジャッキ ※シリンダストロークエンド手前停止状態	mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下	
			平衡装置 ※ブーム水平、全縮状態・セレクトバルブは開	mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下	
			ジブ起伏	mm/10min	—	—	—	—	
安全装置	アースリール線	抵抗値			Ω	1以下	1以下	1以下	1以下
	作業範囲規制装置	測定方法 ※4(添付資料)	規制装置	作業範囲規制	—	AMC3	AMC3／AMC4	AMC3／AMC4	AMC3／AMC4
				モーメントリミッタ	—	—	—	—	—
	起伏角度規制装置	200 kg仕様	ブーム全伸における起伏停止角度		°	—	—	—	—
			ブーム水平時における伸長停止長さ		mm	—	—	—	—
	車輻・ブーム干渉防止装置	旋回、伏、伸縮、首振りが自動停止する事。 ※ブームレスト格納付近は停止しない			—	確認	確認	確認	確認
その他規制装置				—	—	—	—	—	
総合テスト	※バケット・プラットホーム側で操作乗員1名	起伏 ※ブーム全縮		上	s	25±3	25±3	25±3	30±3
		旋回 ※起伏角度最大 ブーム全縮		右	s	50±5	50±5	50±5	60±6
				左					
		伸縮 ※起伏角度最大	伸	鉄製 ブーム	s	14±2	13±2	—	—
				FRP製 ブーム	s	—	—	17±2	28±3
		バケット首振速度 プラットホーム旋回		首振り	s	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動
				アームスイング					
ウインチ巻上速度 ※15m 区間、無負荷				S/15m	—	—	—	—	
低騒音エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		負荷時	min ⁻¹	—	—	1200±30	—
				アイドリング		—	—	1150 ⁺⁵⁰ ₀	—
		弁すき間(冷態時)		吸気弁	mm	—	—	0.25	—
				排気弁		—	—		—
		圧縮圧力(スタータモータを5～10秒間回し、最大値を読む)		基準値	Mpa	—	—	2.9以下	—
				限度	Mpa	—	—	2.6	—
	警告灯(充電水温、油圧)					—	—	—	パイロットランプ点灯

注) 作動速度、ポンプ回転数および作業範囲規制装置の測定方法は諸条件等によって異なります。
詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-110TE-4	AT-110TE-5	AT-110TE-5	AT-146TE-3	
		仕様			STD仕様 又は L+PTO仕様	STD仕様 又は L+PTO仕様	B+PTO仕様	PTO仕様 又は L+PTO仕様	
		適用号機			HK0711～	HK0714～	HK0714～	228869～	
		最大作業床高さ（m）			11.0	11.0	11.0	14.5 (+0.6)	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値			
作業装置	ブーム	スライディングパッド部のがた	上下方向	mm	3以下	3以下	3以下	2以下	
			左右方向	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	—	—	—	—	
		底板ラップ部のへこみ	セカンド	mm	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	
			サード、トップ	mm	2以下	2以下	2以下	—	
		局部へこみ (但し、へこみ長さは50mm以上)			mm	2以下	2以下	2以下	2以下
	伸縮ワイヤたるみ	セカンド、トップ(サード)ブームの伸長差 (ブーム水平状態でセカンドブームを全縮より約10cm伸長する。)			mm	10以下	10以下	10以下	10以下
		調整用ナット 締付けトルク	縮側	サード トップ	N・m (kgf・m)	8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)	9.8(1.0)
			伸側	サード トップ		8.3(0.85)	8.3(0.85)	8.3(0.85)	15.7(1.6)
	平衡装置	①起伏上げ操作にてブームを水平にする。 ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床傾斜角度を測定する。 ③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。 ④ブームを水平に起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の傾斜角度変位量を測定する。			°	1°以下	1°以下	1°以下	1°以下
		上記⑤の状態よりスタートする。 ⑥ブーム起伏角を約10°上げる。 ⑦ブームを水平に起伏下げ操作で停止させる。 ⑧作業床の傾斜角度変位量を測定する。				2.0°以下	2.0°以下	2.0°以下	2.0°以下
	増圧器	ブースタ 標準仕様			Mpa	—	—	—	68.6 ^{+1.0} _{-0.0}
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧 ※ゲージポート(アウトリガバルブまたはリヤアウトリガ前側等)			Mpa (kgf/cm ²)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)
		高速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時			min ⁻¹	900±25	900±25	900±25	1000±25
		中速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時			min ⁻¹	—	—	—	750±20
		低速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時			min ⁻¹	610±20	610±20	610±20	525±20
		油温			℃	40±5	40±5	40±5	40±5
		作動油			—	—	—	—	ISO VG15

トラック式 (TE/CE)

AT-146TE-3	AT-146TE-4	AT-146TE-4	AT-147CE-3	AT-147CE-3	AT-147CE-4	AT-147CE-4		
B+PTO 仕様	PTO 仕様 又は L+PTO 仕様	B+PTO 仕様	PTO 仕様 又は L+PTO 仕様	B+PTO 仕様	PTO 仕様 又は L+PTO 仕様	B+PTO 仕様		
228806～	229423～	228985～	590424～	590420～	590490～	590492～		
14.5 (+0.6)	14.5 (+0.6)	14.5 (+0.6)	14.1 (+0.6)	14.1 (+0.6)	14.1 (+0.6)	14.1 (+0.6)		
検 査 基 準 値								
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下		
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下		
—	—	—	—	—	—	—		
2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下		
—	—	—	—	—	—	—		
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下		
10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下		
9.8(1.0)	伸縮ワイヤ 調整要領参照	伸縮ワイヤ 調整要領参照	9.8(1.0)	9.8(1.0)	伸縮ワイヤ 調整要領参照	伸縮ワイヤ 調整要領参照		
15.7(1.6)			2以下	2以下				
1° 以下	1° 以下	1° 以下	1° 以下	1° 以下	1° 以下			
2.0° 以下	2.0° 以下	2.0° 以下	2.0° 以下	2.0° 以下	2.0° 以下			
68.6 ^{+1.0} _{-0.0}	69.6 ^{+1.0} _{-0.0}	68.6 ^{+1.0} _{-0.0}	68.6 ^{+1.0} _{-0.0}	69.6 ^{+1.0} _{-0.0}	69.6 ^{+1.0} _{-0.0}			
17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)	17.2±0.5 (175±5)			
1000±25	1000±25	1000±25	1000±25	1000±25	1000±25			
750±20	750±20	750±20	750±20	750±20	750±20			
525±20	525±20	525±20	525±20	525±20	525±20			
40±5	40±5	40±5	40±5	40±5	40±5			
ISO VG15	ISO VG15	ISO VG15	ISO VG15	ISO VG15	ISO VG15			

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-110TE-4	AT-110TE-5	AT-110TE-5	AT-146TE-3		
		仕様			PTO仕様 又は L+PTO仕様	PTO仕様 又は L+PTO仕様	B+PTO仕様	PTO仕様 又は L+PTO仕様		
		適用号機			HK0711～	HK0714～	HK0714～	228869～		
		最大作業床高さ（m）			11.0	11.0	11.0	14.5 (+0.6)		
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値				
油圧装置	油圧シリンダー ※作業床は無負荷、レバー操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止後の自然降下量	自然降下量 ※1(添付資料)	起伏 ※ブーム水平、全縮状態		mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下	
			伸縮 ※起伏角度最大、ブーム約10cm伸長状態		mm/10min	3以下	3以下	3以下	3以下	
			アウトリガ・ジャッキ ※シリンダストロークエンド手前停止状態		mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下	
			平衡装置 ※ブーム水平、全縮状態・セレクトバルブは開		mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下	
			ジブ起伏		mm/10min	—	—	—	2以下	
安全装置	アースリール線	抵抗値			Ω	1以下	1以下	1以下	1以下	
	作業範囲規制装置	測定方法 ※4(添付資料)	規制装置	作業範囲規制	—	AMC3／AMC4	AMC3／AMC4	AMC3／AMC4	—	
				モーメントリミッタ	—	—	—	—	AMC3	
	起伏角度規制装置	200 kg仕様	ブーム全伸における起伏停止角度		°	—	—	—	—	
			ブーム水平時における伸長停止長さ		mm	—	—	—	—	
	車輻・ブーム干渉防止装置	旋回、伏、伸縮、首振りが自動停止する事。 ※ブームレスト格納付近は停止しない			—	確認	確認	確認	確認	
その他規制装置				—	—	—	—	—		
総合テスト	※バケット・プラットホーム側で操作乗員1名	起伏 ※ブーム全縮		上	s	25±3	25±3	25±3	30±6(L) 30±3(PTO)	
		旋回 ※起伏角度最大 ブーム全縮		右	s	50±5	50±5	50±5	50±10(L) 50±5(PTO)	
				左						
		伸縮 ※起伏角度最大	伸	鉄製 ブーム	s	—	—	—	—	
				FRP製 ブーム	s	18±2	22±4(L) 17±2(PTO)	25±5(B) 17±2(PTO)	33±6(L) 33±3(PTO)	
		バケット首振速度 プラットホーム旋回		首振り		s	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	6(PTO)
				アームスイング			—	—	—	—
ウインチ巻上速度 ※15m 区間、無負荷					S/15m	—	—	—	23±5 (PTO)	
低騒音エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		負荷時	min ⁻¹	1200±30	1200±30	—	1240±30	
				アイドリング		1150 ⁺⁵⁰ ₀	1150 ⁺⁵⁰ ₀	—	1000 ⁺¹⁰⁰ ₀	
		弁すき間(冷態時)		吸気弁	mm	0.25	0.25	—	0.25	
				排気弁						
		圧縮圧力(スタータモータを5～10秒間回し、最大値を読む)		基準値	Mpa	2.9以下	2.9以下	—	2.9以下	
				限度	Mpa	2.6	2.6	—	2.6	
		警告灯(充電水温、油圧)					—	パイロットランプ点灯	パイロットランプ点灯	—

注) 作動速度、ポンプ回転数および作業範囲規制装置の測定方法は諸条件等によって異なります。
詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

トラック式 (TE/CE)

AT-146TE-3	AT-146TE-4	AT-146TE-4	AT-147CE-3	AT-147CE-3	AT-147CE-4	AT-147CE-4		
B+PTO 仕様	PTO 仕様 又は L+PTO 仕様	B+PTO 仕様	PTO 仕様 又は L+PTO 仕様	B+PTO 仕様	PTO 仕様 又は L+PTO 仕様	B+PTO 仕様		
228806～	229423～	228985～	590424～	590420～	590490～	590492～		
14.5 (+0.6)	14.5 (+0.6)	14.5 (+0.6)	14.1 (+0.6)	14.1 (+0.6)	14.1 (+0.6)	14.1 (+0.6)		
検 査 基 準 値								
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下		
3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	3以下		
1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下		
1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下		
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下		
1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下		
—	—	—	—	—	—	—		
AMC3	AMC4	AMC4	AMC3	AMC3	AMC4	AMC4		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		
確認	確認	確認	確認	確認	確認	確認		
—	—	—	—	—	—	—		
35±7 (B) 30±3 (PTO)	30±6 (L) 30±3 (PTO)	32±6 (B) 30±3 (PTO)	30±6 (L) 30±3 (PTO)	35±7 (B) 30±3 (PTO)	30±6 (L) 30±3 (PTO)	35±7 (B) 30±3 (PTO)		
50±10 (B) 50±5 (PTO)	50±10 (L) 50±5 (PTO)	50±10 (B) 50±5 (PTO)	50±10 (L) 50±5 (PTO)	50±10 (B) 50±5 (PTO)	50±10 (L) 50±5 (PTO)	50±10 (B) 50±5 (PTO)		
	—	—	—	—	—	—		
36±7 (B) 33±3 (PTO)	33±6 (L) 33±3 (PTO)	36±7 (B) 33±3 (PTO)	36±7 (L) 36±4 (PTO)	40±8 (B) 36±4 (PTO)	36±7 (L) 36±4 (PTO)	40±8 (B) 36±4 (PTO)		
6 (PTO)	8±2 (PTO)	8±2 (PTO)	11±2 (PTO)	11±2 (PTO)	12±3 (PTO)	12±3 (PTO)		
—	—	—	18±4 (PTO)	18±4 (PTO)	18±4 (PTO)	18±4 (PTO)		
23±5 (PTO)	23±5 (PTO)	23±5 (PTO)	26±5 (PTO)	26±5 (PTO)	26±5 (PTO)	26±5 (PTO)		
—	1240±30	—	1240±30	—	1240±30	—		
—	1000 ⁺¹⁰⁰ ₀	—	1000 ⁺¹⁰⁰ ₀	—	1000 ⁺¹⁰⁰ ₀	—		
—	0.25	—	0.25	—	0.25	—		
—	2.9以下	—	2.9以下	—	2.9以下	—		
—	2.6	—	2.6	—	2.6	—		
—	パイロット ランプ点灯	—	パイロット ランプ点灯	—	パイロット ランプ点灯	—		

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-100SR-2	AT-120SR-2	AT-120SRM-2	AT-150S-2	
		スペック番号			STD仕様	STD仕様	STD仕様	STD仕様	
		適用号機			HF0466～	HA6100～	HA6109～	HD5709～	
		最大作業床高さ（m）			9.9	12.0	11.9	14.8	
区分	検査箇所	適用項目 ※は条件を示す			単位	検査基準値			
作業装置	ブーム	スライディングパッド部のがた	上下方向	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
			左右方向	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	—	—	—	—	
		底板ラップ部のへこみ	セカンド	mm	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	
			サード、トップ	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		局部へこみ (但し、へこみ長さは50mm以上)			mm	2以下	2以下	2以下	2以下
	伸縮ワイヤたるみ	セカンド、トップ(サード)ブームの伸長差 (ブーム水平状態でセカンドブームを全縮より約10cm伸長する。)			mm	10以下	10以下	10以下	10以下
		調整用ナット 締付けトルク	縮側	サード トップ	N・m (kgf・m)	15.7(1.6)	15.7(1.6)	15.7(1.6)	15.7(1.6)
			伸側	サード トップ		17.7(1.8)	17.7(1.8)	17.7(1.8)	17.7(1.8)
	平衡装置	①起伏上げ操作にてブームを水平にする。 ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床傾斜角度を測定する。 ③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。 ④ブームを水平に起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の傾斜角度変位量を測定する。			°	2°以下	2°以下	2°以下	2°以下
		上記⑤の状態よりスタートする。 ⑥ブーム起伏角を約10°上げる。 ⑦ブームを水平に起伏下げ操作で停止させる。 ⑧作業床の傾斜角度変位量を測定する。				3°以下	3°以下	3°以下	3°以下
	増圧器	ブースタ 標準仕様			Mpa	—	—	—	—
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧 ※ゲージポート(アウトリガバルブまたはリヤアウトリガ前側等)			Mpa (kgf/cm ²)	18.6±0.5 (190±5)	18.6±0.5 (190±5)	18.6±0.5 (190±5)	18.6±0.5 (190±5)
		高速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時			min ⁻¹	850±25	850±25	850±25	850±25
		中速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時			min ⁻¹	630±20	630±20	630±20	630±20
		低速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時			min ⁻¹	510±20	510±20	510±20	510±20
		油温			℃	40±5	40±5	40±5	40±5
		作動油			—	—	—	—	—

注) AT-100SDW の圧力調整詳細はサービスマニュアルを参照してください。

トラック式 (SD)

AT-200S-2	AT-100SDW-2							
STD 仕様	STD 仕様							
HF5561～	HF0237～							
19.7	9.9							
検 査 基 準 値								
2以下	2以下							
2以下	2以下							
—	—							
2.5以下	2.5以下							
2以下	2以下							
2以下	2以下							
10以下	10以下							
15.9(1.62)	15.7(1.6)							
7(0.71) 17.8(1.82)	17.7(1.8)							
2° 以下	2° 以下							
3° 以下	3° 以下							
—	—							
19.1±0.5 (195±5)	19.1±0.5 (195±5)							
850±25	795±25							
630±20	650±20							
560±20	570±20							
40±5	40±5							
—	—							

タダノ

適用範囲		モデル名			AT-100SR-2	AT-120SR-2	AT-120SRM-2	AT-150S-2	
		スペック番号			STD仕様	STD仕様	STD仕様	STD仕様	
		適用号機			HF0466～	HA6100～	HA6109～	HD5709～	
		最大作業床高さ（m）			9.9	12.0	11.9	14.8	
区分	検査箇所	適用項目 ※は条件を示す			単位	検査基準値			
油圧装置	油圧シリンダー ※作業床は無負荷、レバー操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止後の自然降下量	自然降下量 ※1	起伏 ※ブーム水平、全縮状態		mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下
			伸縮 ※起伏角度最大、ブーム約10cm 伸長状態		mm/10min	3以下	3以下	3以下	3以下
			アウトリガ・ジャッキ ※シリンダストロークエンド手前停止状態		mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下
			平衡装置 ※ブーム水平、全縮状態・セレクトバルブは開		mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下
			ウインチ起伏		mm/10min	—	—	—	—
			屈伸 ※測定可能起伏角度でブーム全縮状態		mm/10min	—	—	—	—
安全装置	アースリール線		抵抗値		Ω	—	—	—	—
	作業範囲規制装置	測定方法 ※4	規制装置	作業範囲規制	—	—	—	—	—
				モーメントリミッタ	—	AMC3／AMC4	AMC3／AMC4	AMC3／AMC4	AMC3／AMC4
	起伏角度規制装置	200 kg仕様	ブーム全伸における起伏停止角度		°	—	—	—	—
			ブーム水平時における伸長停止長さ		mm	—	—	—	—
	車輻・ブーム干渉防止装置	旋回、伏、伸縮、首振りが自動停止する事。 ※ブームレスト格納付近は停止しない			—	確認	確認	確認	確認
その他規制装置				—	—	—	—	—	
総合テスト	※バケット・プラットホーム側で操作乗員1名	起伏 ※ブーム全縮		上	s	43±4	43±4	43±4	46±5
		旋回 ※起伏角度最大 ブーム全縮		右	s	60±6	60±6	60±6	60±6
				左	s				
		伸縮 ※起伏角度最大	伸	鉄製 ブーム	s	26±3	35±4	35±4	42±4
				FRP製 ブーム	s	—	—	—	—
		バケット首振速度 プラットホーム旋回		右	s	60±6	60±6	60±6	60±6
		折り曲げ		伸び	s				
		ウインチ巻上速度 ※15m 区間、無負荷			S/15m	—	—	—	—
低騒音エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	負荷時		min ⁻¹	—	—	—	—
			アイドリング			—	—	—	—
		弁すき間(冷態時)	吸気弁		mm	—	—	—	—
			排気弁			—	—	—	—
		圧縮圧力(スタータモータを5～10秒間回し、最大値を読む)	基準値		Mpa	—	—	—	—
			限度		Mpa	—	—	—	—
		潤滑装置 (エンジン油圧)				—	—	—	—

注) 作動速度、ポンプ回転数および作業範囲規制装置の測定方法は諸条件等によって異なります。
詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

トラック式 (SD)

AT-200S-2	AT-100SDW-2							
STD 仕様	STD 仕様							
HF5561～	HF0237～							
19.7	9.9							
検 査 基 準 値								
2以下	2以下							
3以下	3以下							
1以下	1以下							
1以下	1以下							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
AMC3／AMC4	AMC3／AMC4							
—	—							
—	—							
確認	確認							
—	—							
61±6	43±4							
75±8	60±6							
56±6	26±3							
—	—							
66±7	60±6							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							

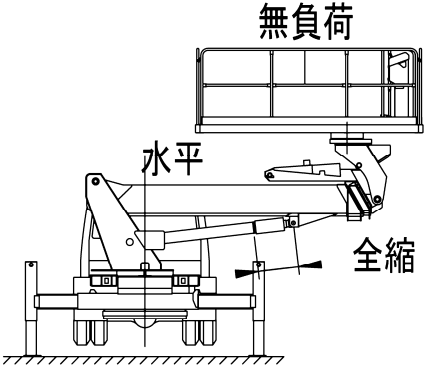
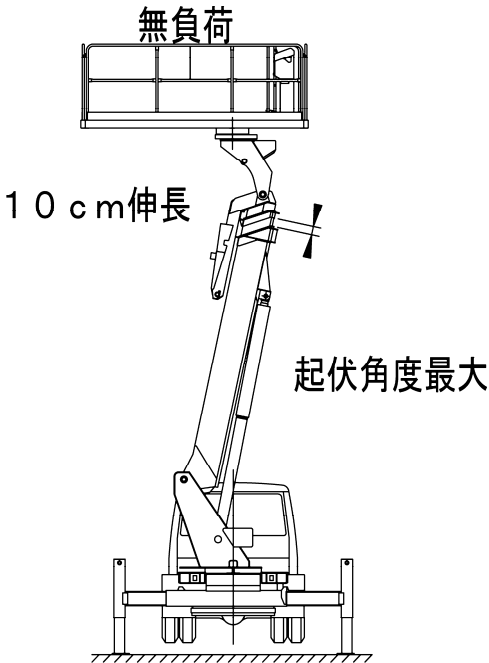
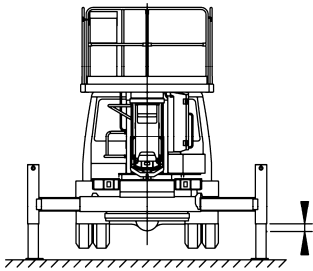
タダノ

適用範囲		モデル名			BT-110-1	BT-200-2			
		スペック番号			STD仕様	STD仕様			
		適用号機			HB5669～	HB5666～			
		最大作業床高さ（m）			地下 7.3 地上 6.8	地下 5.4 地上 7.0			
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値			
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上ブーム	上下方向		0.5～1	0.5～1		
				左右方向		0.2～0.7	0.2～0.7		
			下ブーム	上下方向	mm	－	0.5～1		
				左右方向	mm	－	0.5～1		
			ポスト部	セカンド縦横共(片側)		0.2～0.5	0.2～0.5		
				サード縦横共(片側)		0.2～0.5	0.2～0.5		
				フォース縦横共(片側)		0.2～0.5	0.2～0.5		
				トップ縦横共(片側)		0.2～0.5	0.2～0.5		
		スライディングパッド		摩耗量	mm	－	－		
		底板ラップ部へこみ	セカンド(上ブーム)		mm	2.5以下	2.5以下		
			サード、トップ(下ブーム)		mm	－	2以下		
			ポスト部	セカンド	mm	2.5以下	2.5以下		
				サード	mm	2.5以下	2.5以下		
				フォース	mm	2.5以下	2.5以下		
	トップ			mm	2以下	2以下			
	局部へこみ (但し、へこみ長さは50mm以上)			mm	2以下	2以下			
	伸縮ワイヤたるみ (下ブーム)	セカンド、トップ(サード)ブームの伸長差 (ブーム水平状態でセカンドブームを全縮より約10cm伸長する。)			mm	10以下	10以下		
		調整用ナット 締付けトルク		縮側	N・m	－	6.4(0.65)		
				伸側	(kgf・m)	－	8.3(0.85)		
	平衡装置	①起伏上げ操作にてブームを水平にする。 ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床傾斜角度を測定する。 ③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。(BTのみ2回) ④ブームを水平に起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の傾斜角度変位量を測定する。 上記⑤の状態よりスタートする。 ⑥ブーム起伏角を約10°上げる。 ⑦ブームを水平に起伏下げ操作で停止させる。 ⑧作業床の傾斜角度変位量を測定する。			°	2°以下	2°以下		
						3°以下	3°以下		
	首振り装置 (BTのみ)	プラットホーム旋回角度			°	110±3	90±3		
		プラットホーム旋回の作動			コメント	異常・異音が無い事	異常・異音が無い事		
プラットホームスライドの作動			コメント	異常・異音が無い事	異常・異音が無い事				

タダノ

適用範囲		モデル名			BT-110-1	BT-200-2			
		スペック番号			STD仕様	STD仕様			
		適用号機			HB5669～	HB5666～			
		最大作業床高さ（m）			地下 7.3 地上 6.8	地下 5.4 地上 7.0			
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値			
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧 ※アウトリガ操作バルブ部			Mpa (kgf/cm ²)	20.6±0.5 (210±5)	21.6～22.1 (220～225)		
		高速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時			min ⁻¹	1150±25	1210±25		
		中速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時			min ⁻¹	825±25	905±25		
		低速時のポンプ回転数 負荷：ブーム全縮リーフ時			min ⁻¹	580±45	610±50		
		油温			℃	40±5	40±5		
		作動油			—	—	—		
	油圧シリンダー ※作業床は無負荷、レバー操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止後の自然降下量	自然降下量 ※1(添付資料)	起伏 ※ブーム水平、全縮状態		mm/10min	2以下	2以下		
			伸縮 ※起伏角度最大、 ブーム約10cm 伸長状態		mm/10min	3以下	3以下		
			バケット起伏 ※ブーム・ バケット水平状態		mm/10min	—	—		
			昇降 ※ブーム水平、全縮状態		mm/10min	3以下	3以下		
			ジャッキ		mm/10min	—	—		
			アウトリガ・ジャッキ ※シリンダ ストロークエンド手前停止状態		mm/10min	1以下	1以下		
			平衡装置 ※ブーム水平、 全縮状態・セレクトバルブは開		mm/10min	1以下	1以下		
			ウインチ起伏		mm/10min	—	—		
			屈伸 ※測定可能起伏 角度でブーム全縮状態		mm/10min	—	—		
安全装置	アースリール線		抵抗値		Ω	—	—		
	作業範囲 規制装置	測定方法 ※4(添付資料)	規制装置	作業範囲規制	AMC	AMC3／AMC4	AMC3／AMC4		
				モーメントリミッタ	AMC	—	—		
		ブーム・デッキ伸び停止点		mm	※注	※注			
		ブーム・デッキ旋回停止点		mm	※注	※注			
	その他規制装置	—			—	※注	※注		
アウトリガタイヤ		傷、磨耗の状態			—	点検	点検		
総合テスト	作動速度 ※2(添付資料) ※バケット・プラットフォーム側 で操作 乗員1名	起伏 ※ブーム全縮		上	s	35±4	35±4		
		旋回 ※起伏角度最大、 ブーム全縮	右	s	65±7	40±4			
			左	s					
		伸縮 ※起伏角度最大		伸	s	25±3	25±3		
		下ブーム伸縮		伸	s	17±4	30±3		
		デッキ旋回	右	s	31±6	25±3			
			左						
		ポスト		伸	s	73±7	60±6		

注) 作動速度、ポンプ回転数および作業範囲規制装置の測定方法は諸条件等によって異なります。
詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

※ 1. 油圧シリンダの自然降下量 1. 起状シリンダ 「測定要領」 1) 車体を水平堅土上に設置する。 2) ブーム全縮状態で、起操作にて水平にする。 3) エンジンを停止する。 4) シリンダ（ロッド）にマーキングする。 5) 起状操作バルブを操作し、残圧を抜き 1 分後に 0 点をセットする 6) 10 分経過後、降下量を測定する 「判定基準」 ロッドの縮小量は 2mm 以内／10 分 ※油温の高い時は行わないこと	
2. 伸縮シリンダ 「測定要領」 1) 車体を水平堅土上に設置する。 2) ブーム起状角度最大で、伸操作にて 10 cm 伸長する。 3) エンジンを停止する。 4) セカンドブームにマーキングする。 5) 伸縮操作バルブを操作し、残圧を抜き 1 分後に 0 点をセットする 6) 10 分経過後、降下量を測定する 「判定基準」 セカンドブームの縮小量は 3mm 以内／10 分 ※油温の高い時は行わないこと	
3. ジャッキシリンダ 「測定要領」 1) 車体を水平堅土上に設置する。 2) ブーム格納状態で、ジャッキ張り出し操作にてタイヤを浮かす。 3) エンジンを停止する。 4) ジャッキインナーにマーキングする。 5) アウトリガ操作バルブを操作し、残圧を抜き 1 分後に 0 点をセットする 6) 10 分経過後、降下量を測定する 「判定基準」 ジャッキインナーの縮小量は 1mm 以内／10 分 ※油温の高い時は行わないこと	

※ 2. 速度測定方法

「測定要領」

- 1) 車体を水平堅土上に設置する。
- 2) 作業車の作動範囲に障害物が無いことを確認する。
- 4) 各操作は旋回台で行う。
- 3) 油温は $40 \pm 5^{\circ}\text{C}$ で行う。

① 起状速度

- 1) ブーム全縮状態で、伏せ操作により「伏」エンドまで下げる。
- 2) 起操作により「起」エンド停止までの時間を測定する。

② 伸縮速度

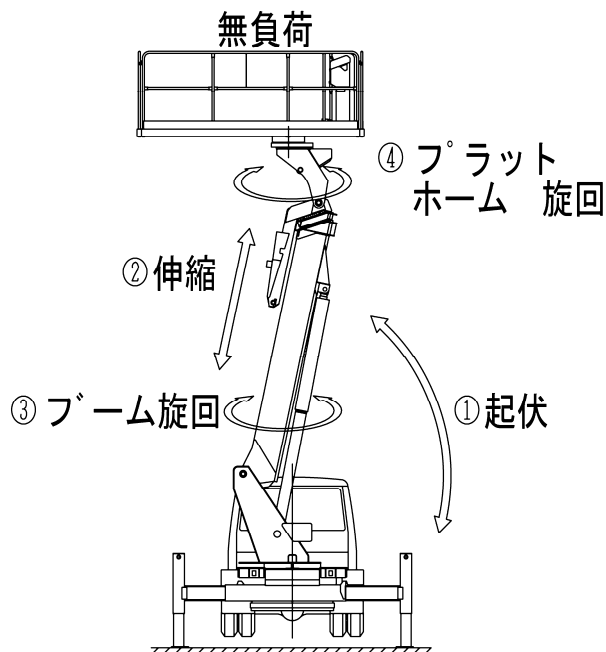
- 1) ブームを全縮状態で、起操作により「起」エンドまで上げる。
- 2) 伸操作により「伸」エンド停止までの時間を測定する。

③ ブーム旋回速度

- 1) ブームを全縮、起エンド状態で後方に向ける。
- 2) ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する。
- 3) ブーム右旋回、左旋回共に行う。

④ プラットホーム旋回速度

- 1) ブームを全縮、起エンド状態で後方に向ける。
- 2) デッキ旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する。
- 3) デッキ右旋回、左旋回共に行う。



※ 4. 作業半径測定方法

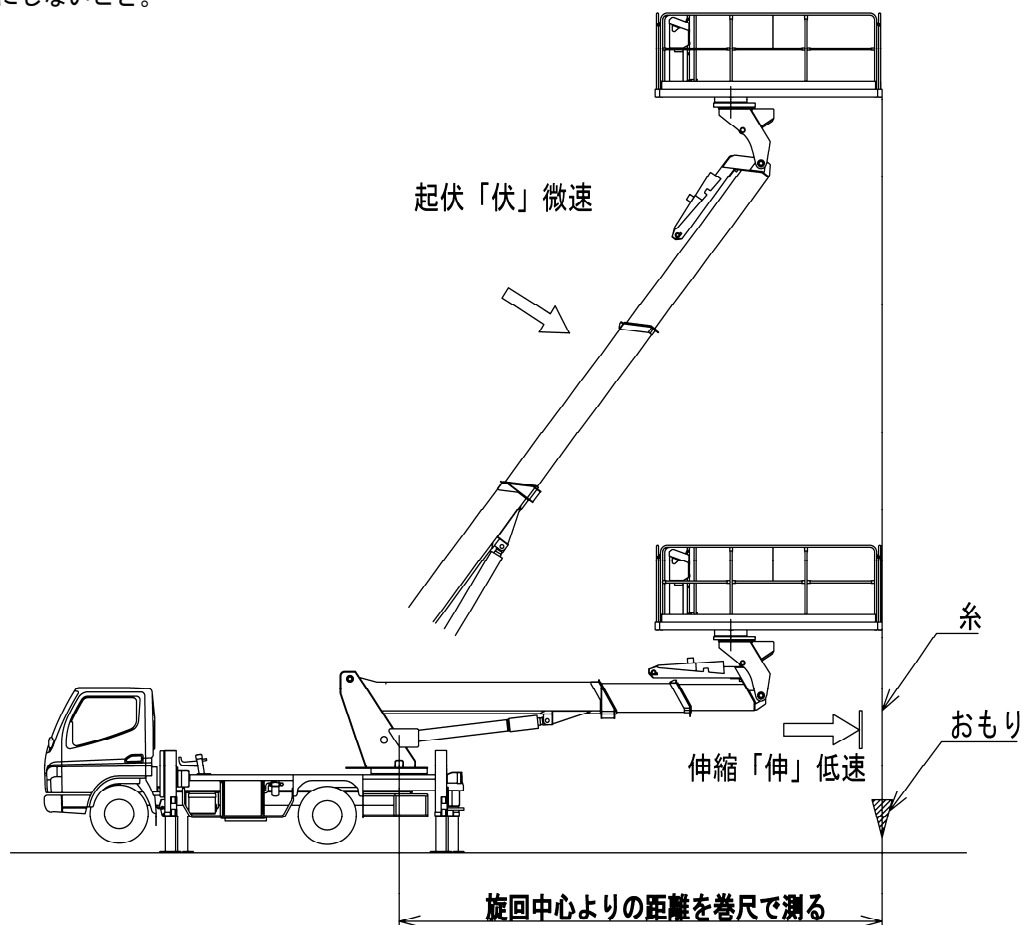
〔測定機器〕

1. 角度計
2. 巻尺
3. 重錘
4. 水系

「測定例」

※測定値や測定方法は、機種によって異なります
また、同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても異なります
詳細はサービスマニュアルを参照してください。

- 1) 高所作業車を水平堅土に水平に設置する。
(タイヤが浮いていることを確認する)
- 2) ブーム操作は、下部操作の低速側にて行うこと。
- 3) ブームを水平状態にし、伸長操作にて AMC100%停止させ、作業半径を測る。
やむを得ずブームを立てて行なう場合は、上部操作で微速「伏」操作にて行なうこと。
※バスケット（プラットフォーム）の積載荷重は機種、または仕様によっても異なっているので各機種のデータを参照すること。
- 5) 規定の作業半径に達してもブームの作動が 100%停止しない場合は、作業半径が大きくなる側の操作は絶対にしないこと。



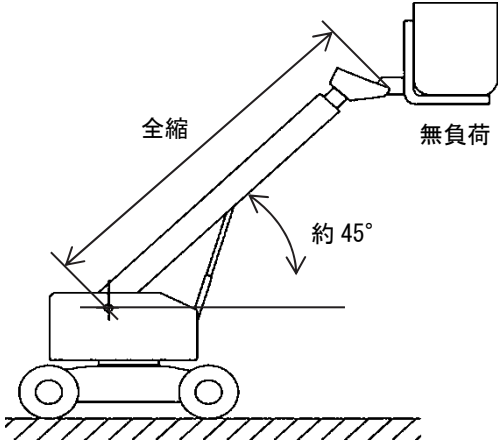
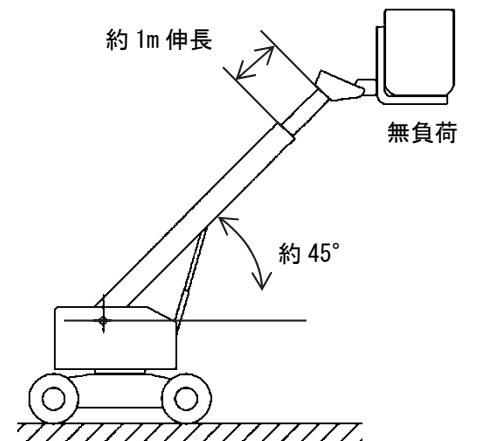
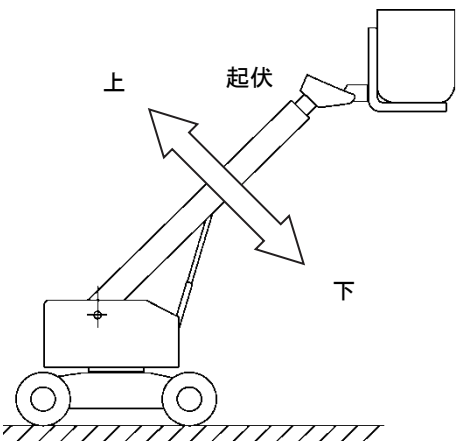
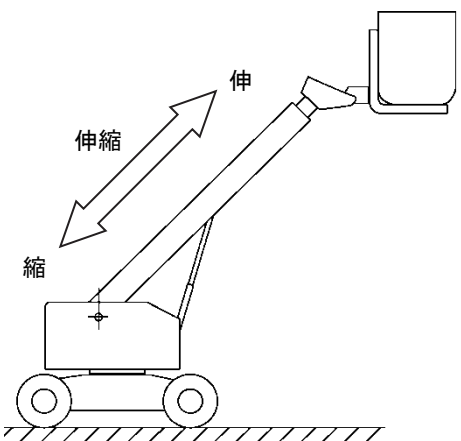
豊田自動織機

適用範囲		モデル名			5JD9	5JD9	5JD12	5JD12	
		適用号機又はスペック番号			761762 (4TNV88 エンジン)	780432～ (4TNV88C エンジン)	～742404 (4TNV88 エンジン)	STD (4TNV88C エンジン)	
		最大作業床高さ (m)			9.9	9.9	12.0	12.0	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値				
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1150	1000	1150	1000	
			ハイアイドル	min ⁻¹	2000	2400	2000	2400	
		弁すき間	吸気弁	mm	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	
			排気弁	mm	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	
		圧縮圧力		Mpa (kgf/cm ²)	3.43 (35)	3.24 (33)	3.43 (35)	3.24 (33)	
		燃料噴射圧力		Mpa (kgf/cm ²)	— —	— —		— —	
		※回転速度		min ⁻¹	250	250	250	250	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	10～13	10～13	10～13	10～13	
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	98 (10)	98 (10)	98 (10)	98 (10)	
走行装置	ホイール	ソリッドタイヤ	空気圧	—	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク	ノーパンク	
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—		
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間		mm	—	—	—		
		最低停止保持勾配		°	15.0	15.0	15.0	15.0	
作業装置	ブーム	スライディング パッド部がた	上下方向	mm	0.5～1.0	0.5～1.0	0.5～1.0	0.5～1.0	
			左右方向	上側	mm	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9
				下側	mm	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9	0.5～0.9
		スライディングパッド	摩擦耗量	mm	2.0	2.0	2.0	2.0	
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa (kg/cm ²)	20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)	
		※ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	1300	1400	1300	1400	
			高速	min ⁻¹	2000	2400	2000	2400	
		作動油		—	VG22	VG22	VG22	VG22	
		油温		℃	40±10	40±10	40±10	40±10	
	油圧シリンダー ※1	起伏	mm/10min	2	2	2	2		
		伸縮	mm/10min	2	2	2	2		
		平衡装置	mm/10min	2	2	2	2		
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	
		左右	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5		
	高速走行規制	ブーム姿勢	起伏角		起伏10度以上	起伏10度以上	起伏10度以上	起伏10度以上	
			伸縮		ブーム全縮以外	ブーム全縮以外	ブーム全縮以外	ブーム全縮以外	
	作業範囲 規制装置	作業範囲規制 ※4		—	—	—	—	—	
		モーメントリミッタ ※4		—	—	—	—		
総合テスト	作動速度 測定方法 ※2	起伏(リフト)	上	s	40±6	40±6	40±6	40±6	
			下	s	40±6	40±6	40±6	40±6	
		伸縮	伸	s	20±5	25±5	25±5	25±5	
			縮	s	20±5	25±5	25±5	25±5	
		旋回	右	s	60±9	60±9	60±9	60±9	
			左	s	60±9	60±9	60±9	60±9	
		バスケット首振	右	s	15±3	15±3	15±3	15±3	
			左	s	15±3	15±3	15±3	15±3	
		走行	高	km/h	4±0.4	4±0.4	4±0.4	4±0.4	
			低	km/h	0.7±0.1	0.7±0.1	0.7±0.1	0.7±0.1	

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法はモデルやウエイトの重量によって異なります。
測定方法はサービスマニュアルを参照して下さい。

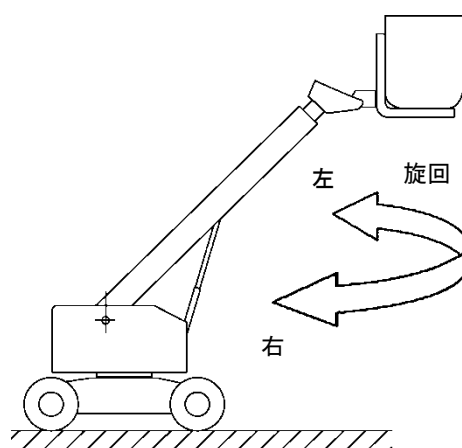
ホイール式（内燃機式）

5JD19	5JD21	5JD25						
STD	STD	STD						
19.0	21.0	25.0						
検 査 基 準 値								
950	950	950						
1750	1750	1750						
0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25						
0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25						
3.43 (35)	3.43 (35)	3.43 (35)						
—	—	—						
—	—	—						
250	250	250						
10～13	10～13	10～13						
98 (10)	98 (10)	98 (10)						
ノーマンク	ノーマンク	ノーマンク						
—	—	—						
—	—	—						
12.0	12.0	12.0						
0.6～1.1	0.6～1.1	0.6～1.1						
0.3～0.8	1～2	1～2						
0.3～0.8	6～7	6～7						
2.0	2.0	2.0						
20.6 (210)	20.6 (210)	20.6 (210)						
1400	1400	1400						
1750	1750	1750						
VG22	VG22	VG22						
40±10	40±10	40±10						
2	2	2						
2	2	2						
2	2	2						
3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5						
3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5						
起伏10度以上 ブーム全縮以外	起伏10度以上 ブーム全縮以外	起伏5度以上 ブーム全縮以外						
○	○	○						
—	—	—						
40±6	40±6	50±7						
40±6	40±6	50±7						
35±5	40±6	60±9						
30±5	40±6	60±9						
80±12	80±12	94±14						
80±12	80±12	94±14						
15±4	15±4	15±4						
15±4	15±4	15±4						
4±0.6	4±0.6	4±0.6						
1±0.2	1±0.2	1±0.2						

※ 1. 起伏自然降下測定 (1) ブームを起伏角約 45°、ブーム伸長は全縮にセットする。 (2) 車両エンジンを停止する。 (3) 起伏シリンダーロッドにマーキング又はダイヤルゲージをセットする。 (4) エンジン停止後 5 分経過した後に、マーキング又はダイヤルゲージの 0 点を合わせる。 (5) 10 分間経過させ、自然降下量を測定する。	
※ 2. 伸縮自然降下測定 (1) ブームを起伏角約 45°、ブーム伸長を約 1m にセットする。 (2) 車両エンジンを停止する。 (3) 第 1 ブーム第 2 ブーム間にてマーキング又はダイヤルゲージをセットする。 (4) エンジン停止後 5 分経過した後に、マーキング又はダイヤルゲージの 0 点を合わせる。 (5) 10 分間経過させ、自然降下量を測定する。	
※ 3-1. ブーム起伏速度 (1) 車両を水平堅土上にセットする。 (2) ブームを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。 (3) 伸縮「縮」で最縮状態にする。 (4) 起伏「下」スイッチを押しブームを一番下まで下げる。 (5) 起伏「上」スイッチを押しブームを一番上で止まるまでの時間を測定する。 (6) 起伏「下」スイッチを押しブームを一番下で止まるまでの時間を測定する。	
※ 3-2. ブーム伸縮速度 (1) 車両を水平堅土上にセットする。 (2) ブームを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。 (3) ブームを起伏上げで止まるまで動かす。 (4) 伸縮「縮」スイッチを押しブームを一番最縮まで縮める。 (5) 伸縮「伸」スイッチを押しブームが最長状態で止まるまでの時間を測定する。 (6) 伸縮「縮」スイッチを押しブームが最縮状態で止まるまでの時間を測定する。	

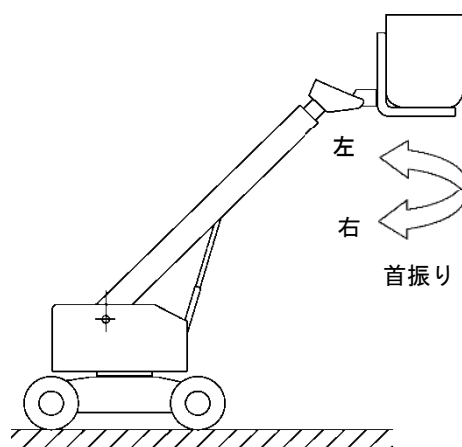
※ 3-3. ブーム旋回速度

- (1) 車両を水平堅土上にセットする。
- (2) ブームを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。
- (3) ブームを起伏上げで止まるまで動かす。
- (4) 伸縮「縮」で最縮状態にする。
- (5) 旋回する最初の位置を決旋回「右または左」スイッチを押しブームを1回転させ、1回転する時間を測定する。
- (6) 旋回スイッチを先ほどと反対側に入れブームを1回転させ1回転する時間を測定する。



※ 3-4. 首振り速度

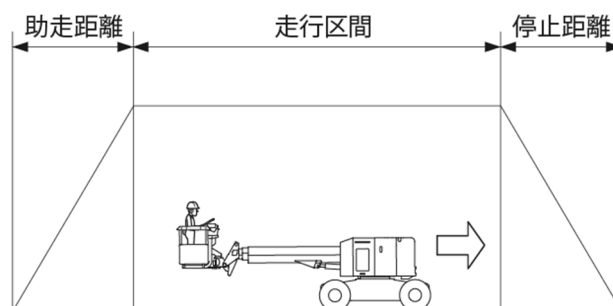
- (1) 車両を水平堅土上にセットする。
- (2) 首振りを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。
- (3) 首振り「右または左」スイッチを押し首振りをエンドまで動かす。
- (4) 首振りスイッチを押し首振りが止まるまでの時間を測定する。
- (5) 首振りスイッチを先ほどと反対側に入れ首振りが反対側エンドで止まるまでの時間を測定する。



※ 3-5. 走行速度測定方法

[測定要領]

- 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
 - 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する
 - 3) 車両が最大速度になるまで助走させる
 - 4) 速度が安定した走行区間の速度を測定する
- ※ ブームの姿勢や切り替えスイッチを切り替え「高速」、「低速」を行う



※ 4. 作業半径測定

[検査機器]

1. 角度計
2. 巻尺
3. 重垂
4. 水系

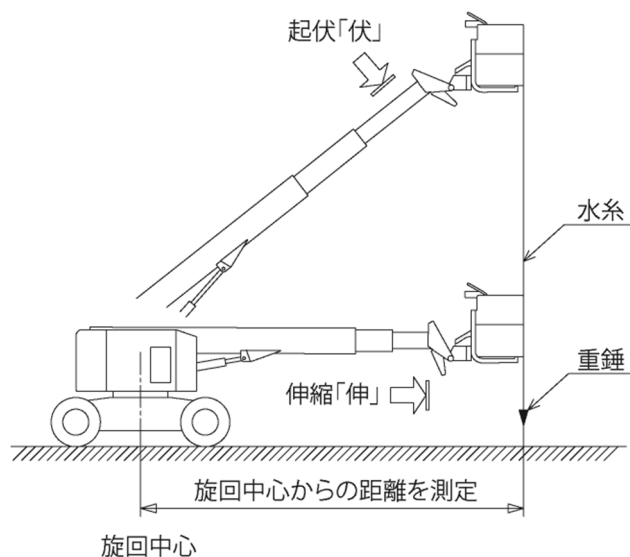
※測定値や測定方法はモデルによって異なります
また同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても
異なります

[測定例 L-MAX]

※測定はL-MAX（ブーム全伸長）の他にL-MIN（起伏角水平）があります。

詳細はサービスマニュアルを参照してください

- 1) 車両を水平堅土上にセットする
- 2) 車体は前後左右水平にセットする
- 3) バスケットにウエイトを積載する
(機種、仕様により異なっているので各機種のデータを参照のこと)
- 4) ブームの操作は下操作で行なう
- 5) ブーム操作は低速にて行なう
- 6) ブームが自動停止した作業半径を巻尺にて測定する
- 7) 規定の作業半径（最大許容作業半径）に達しても、ブームの作動が停止しない場合は操作をやめ、作業半径が大きくなる側への操作は絶対に行なわないこと
- 8) 測定後ブームを操作する際は、ブームを全縮にした後、旋回操作を行なうこと



長野工業

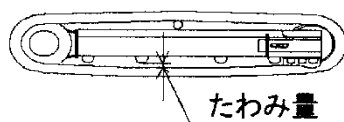
適用範囲		モデル名			NUL13SuJ	NUL18uJ	NUZ09uJ		
		適用号機			13NS10051～	18NU20051～	9NZ20051～		
		最大作業床高さ（m）			13.0	17.9	9.4		
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値				
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1300±50	1300±50	1300±50		
			ハイアイドル	min ⁻¹	2400±50	2500±50	2500±50		
		弁すき間	吸気弁	mm	0.145～0.185	0.145～0.185	0.145～0.185		
			排気弁	mm	0.145～0.185	0.145～0.185	0.145～0.185		
		圧縮圧力		Mpa	3.23～3.62	3.23～3.62	3.23～3.62		
				(kgf/cm ²)	33～37	33～37	33～37		
	回転速度		min ⁻¹	250	250	250			
	冷却方式	ファン駆動ベルトの張り ※ベルト押し付け力			mm	10～12	10～12	10～12	
					N	98	98	98	
				(kgf)	(10)	(10)	(10)		
走行装置	履帯 クローラベルト	鉄シュー張り（たわみ量）		mm	162～172	162～172	162～172		
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—			
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	11.5	11.5	11.5		
作業装置	ブーム	スライディングパッド 部がた	上下	mm 以下	1	1	1		
			左右	mm 以下	1	1	1		
		スライディングパッド 使用限界	ブーム	—	BASE/MID	BASE/MID	BASE/MID		
			上	mm 以下	17/17	10/10	10/10		
			下	mm 以下	19/24	22/12	19/24		
			左右	mm 以下	17/17	16/16	10/10		
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	リフト側	Mpa	24.5	24.5	24.5		
				(kgf/cm ²)	(250)	(250)	(250)		
			走行側	Mpa	24.5	24.5	24.5		
				(kgf/cm ²)	(250)	(250)	(250)		
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	—	—	—		
			高速	min ⁻¹	2400	2400	2400		
	作動油		—		VG32	VG32	VG32		
	油温		℃		40±10	40±10	40±10		
油圧シリンダー	自然伸縮量	各ブーム（※2）	mm/10min	2以下	2以下	2以下			
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度		前後	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	
				左右	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5	
	作業範囲 規制装置	リミットスイッチ 作動高さ	高速走行規制高さ（※6）	m	0.5以下 2.0以上	1.0以下 1.6以上	1.7以下 7.7以上		
			走行停止規制（※6）	m	0.5以下5.5 以上0.03伸	1.0以下5.0 以上0.03伸	2.1以下2.5 以上1.0伸		
			上昇規制検知	m	—	—	—		
	過積載 規制装置	油圧スイッチ作動重量	上昇可	kg	—	—	—		
上昇不可			kg	—	—	—			
総合 テ ス ト	作動速度	第1ブーム（起伏） （リフト）	上	sec	38±10	55±18	32±9/14°		
			下	sec	40±10	65±28	55±18/14° ～		
		第3ブーム	上	sec	—	30±13	—		
			下	sec	—	25±13	—		
		伸縮ブーム	伸	sec	24±8	22±11	10±8/2m±		
			縮	sec	27±8	15±11	10±8/2m±		
		ジブブーム	上	sec	—	50±18	—		
			下	sec	—	45±18	—		
		バスケット旋回	右	sec	10±6	8±5	75±15		
			左	sec	13±6	12±6	75±15		
		旋回	右	sec/360°	55±10	80±13	90±13		
			左	sec/360°	55±10	80±13	90±13		
		走行	2速	km/h	2.5±0.1	2.5±0.1	2.5±0.1		
			高	km/h	1.5±0.1	1.5±0.1	1.5±0.1		
			低	km/h	1.2±0.1	1.2±0.1	1.0±0.1		

長野工業

適用範囲		モデル名		NUX06uj				
		適用号機		6NX10051～				
		最大作業床高さ (m)		5.8				
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	—			
			ハイアイドル	min ⁻¹	—			
		弁すき間	吸気弁	mm	—			
			排気弁	mm	—			
		圧縮圧力		Mpa	—			
				(kgf/cm ²)	—			
	冷却方式	ファン駆動ベルトの張り ※ベルト押し付け力		min ⁻¹	—			
				mm	—			
				N	—			
走行装置	履帯	ゴムベルト張り(たわみ量)(※1)		(kgf)	—			
				mm	15～20			
	ホイール	ソリッドタイヤ			—			
	走行ブレーキ	制動距離		m	—			
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた		°	11.5			
				最低停止保持勾配				
		スライディングパッド使用限界	上下	mm 以下	—			
			左右	mm 以下	—			
			ブーム	—	—			
			上	mm 以下	—			
			下	mm 以下	—			
			左右	mm 以下	—			
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	リフト側	Mpa	22.5			
				(kgf/cm ²)	230			
			走行側	Mpa	22.5			
				(kgf/cm ²)	230			
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	—			
			高速	min ⁻¹	—			
		作動油		—	VG32			
		油温		°C	40±10			
安全装置	油圧シリンダー	自然伸縮量	各ブーム(※2)		mm/10min	2以下		
	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	3.0±0.5			
			左右	°	3.0±0.5			
	作業範囲 規制装置	リミットスイッチ 作動高さ	高速走行規制高さ		m	—		
			走行停止規制		m	1.5以上		
			上昇規制検知		m	—		
	過積載 規制装置	油圧スイッチ作動重量	上昇可	kg	250-20			
			上昇不可	kg	250-20			
総合テスト	作動速度	第1ブーム (リフト)	上	sec	22±6			
			下 (2.5m で停止)	sec	(33)+(8) ±6			
		第2ブーム (第3ブーム)	上	sec	—			
			下	sec	—			
		伸縮ブーム	伸	sec	—			
			縮	sec	—			
		ジブブーム	上	sec	—			
			下	sec	—			
		バスケット旋回	右	sec	—			
			左	sec	—			
		旋回	右	sec/360°	—			
			左	sec/360°	—			
		走行	2速	km/h	—			
			高	km/h	1.5±0.15			
			低	km/h	0.8±0.1			

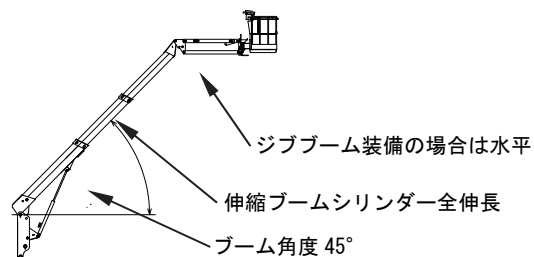
※ 1、クローラ張り調整

- 1、クローラを地面から浮かせて下さい。
- 2、クローラの中央部に最も近いトラックローラ下面とクローラの転動面との間隔（たわみ量）を測定します。
- 3、たわみ量が規定値となる様にアジャストシリンダーのグリス量を調整します。



※ 3、伸縮シリンダー自然降下量測定

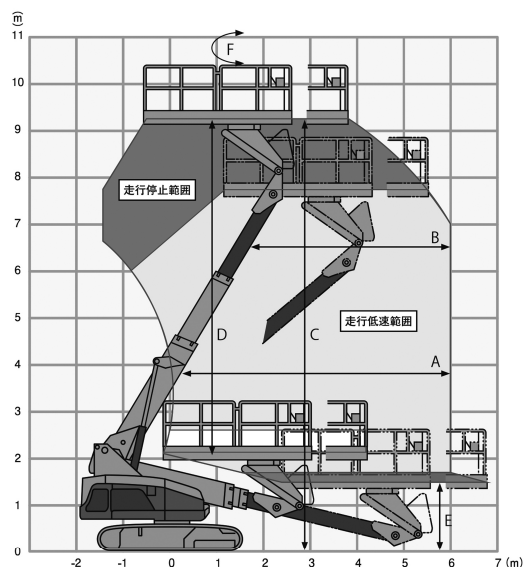
- 1、伸縮ブームを全伸長にします。
- 2、ブーム起伏角度を 45° にします。
- 3、そのままの姿勢で 10 分間放置し伸縮ブームの縮み量を測定します。
- 4、ジブブーム装備の場合は水平にします。



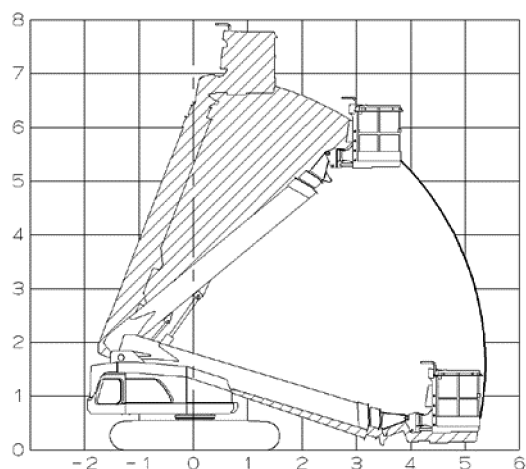
※ 6、走行規制高さ

- 1、バスケットが地上から規定の高さ以上上昇した場合に走行が停止又は減速します。
- 2、走行が停止又は減速した際スケールにてバスケットの作業床から地面までの高さを測定します。
- 3、ブームの規制角度、長さはサービスマニュアルを参照して下さい。

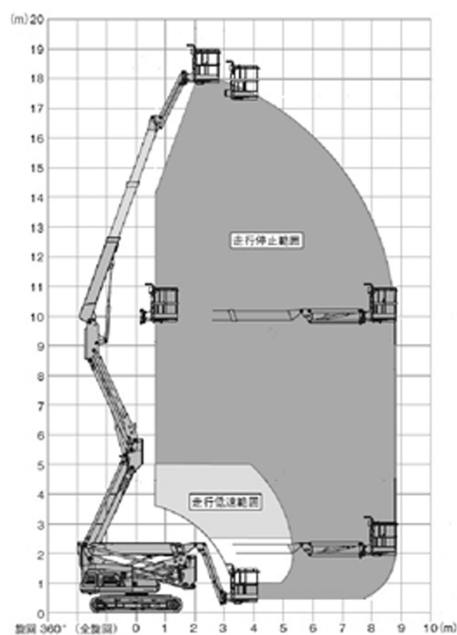
NUZ09uj 走行規制高さ



NUL13Suj 走行規制高さ



NUL18uj 走行規制高さ



北越工業

適用範囲		モデル名			ENCL040-3 (固定デッキ)		ENCL040S-3 (スライドデッキ)	
		適応号機			～CL403A0422	CL403A0423～	～CS403A0422	CS403A0423～
		最大作業床高さ（m）			4.0	4.0	4.0	4.0
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
電動機	駆動ベルト	駆動用 チェーンのたわみ	右	mm	9±3	←	9±3	←
			左	mm	12±3	←	12±3	←
	バッテリー	電圧		V	24	←	24	←
	ヒューズ	走行・昇降主回路用		A	200	←	200	←
		制御用		A	5	←	5	←
走行装置	履帯 クローラベルト	ゴム クローラ	摩耗量	—	状態により 判断	←	状態により 判断	←
			張り（たわみ量）	mm	15±3	←	15±3	←
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	14	←	14	←
油圧装置	油圧ポンプ	昇降	吐出圧	MPa (kgf/cm ²)	18.2±0.5 (186)	←	18.2±0.5 (186)	←
			作動油	—	VG22	←	VG22	←
			油温	℃	35	←	35	←
	油圧シリンダー	自然降下量	リフトシリンダー (作業床高さ；2m)	mm/10min	11以下	←	11以下	←
安全装置	車体傾斜角警報装置	作動角度		°	1.7±0.2	←	1.7±0.2	←
	過積載 防止装置	上昇可能質量		N	2,450	←	2,156	←
				(kgf)	(250)	←	(220)	←
		上昇規制質量(※)		N	2,940	←	2,587	←
				(kgf)	(300)	←	(264)	←
	作業床 規制装置	格納検知		mm	900	←	900	←
		走行規制検知		mm	2,000±100	←	2,000±100	←
上限規制検知		mm	3,950～ 4,000	←	3,950～ 4,000	←		
総合テスト	作動速度	昇降	積載質量	N (kgf)	2,450 (250)	←	2,156 (220)	←
			油温	℃	35	←	35	←
			上昇	sec	20 ⁺⁴ ₋₂	←	20 ⁺⁴ ₋₂	←
			下降	sec	17 ⁺³ ₋₁	21±2	17 ⁺³ ₋₁	21±2
		走行	積載質量 (1人乗車相当)	N (kgf)	784 (80)	←	784 (80)	←
			高速	km/h	2.0±0.4	←	2.0±0.4	←
			低速	km/h	—	—	—	—
			非格納状態	km/h	0.8±0.2	←	0.8±0.2	←
	走行直進性			mm/10m	1,000	←	1,000	←

※ 作業床が格納高さから1m上昇位置～最大高さまでの間に適用する。

クローラ式（蓄電池式）

ENCL045-3 (固定デッキ)		ENCL045S-3 (スライドデッキ)		ENCL061-3 (固定デッキ)		ENCL061S-3 (スライドデッキ)		
～CL453A4970	CL453A4971～	～CS453A4970	CS453A4971～	～CL613A0799	CL613A0800～	～CS613A0799	CS613A0800～	
4.5	4.5	4.5	4.5	6.1	6.1	6.1	6.1	
検 査 基 準 値								
9±3	←	9±3	←	12±3	←	12±3	←	
12±3	←	12±3	←	9±3	←	9±3	←	
24	←	24	←	24	←	24	←	
200	←	200	←	325	←	325	←	
5	←	5	←	5	←	5	←	
状態により 判断	←	状態により 判断	←	状態により 判断	←	状態により 判断	←	
15±3	←	15±3	←	15±3	←	15±3	←	
14	←	14	←	15	←	15	←	
18.2±0.5 (186)	←	18.2±0.5 (186)	←	18.0±0.5 (184)	←	18.8±0.5 (192)	←	
VG22	←	VG22	←	VG22	←	VG22	←	
35	←	35	←	35	←	35	←	
11以下	←	11以下	←	11以下	←	11以下	←	
1.7±0.2	←	1.7±0.2	←	1.7±0.2	←	1.7±0.2	←	
2,254	←	1,960	←	2,450	←	2,450	←	
(230)	←	(200)	←	(250)	←	(250)	←	
2,705	←	2,352	←	2,940	←	2,940	←	
(276)	←	(240)	←	(300)	←	(300)	←	
900	←	900	←	1,050	←	1,050	←	
2,000±100	←	2,000±100	←	2,000±100	←	2,000±100	←	
4,450～ 4,500	←	4,450～ 4,500	←	6,050～ 6,100	←	6,050～ 6,100	←	
2,254 (230)	←	1,960 (200)	←	2,450 (250)	←	2,450 (250)	←	
35	←	35	←	35	←	35	←	
20 ⁺⁴ ₋₂	←	20 ⁺⁴ ₋₂	←	29 ^{+4.5} _{-2.5}	←	30 ^{+4.5} _{-2.5}	←	
22 ⁺³ ₋₁	25±2	22 ⁺³ ₋₁	25±2	27±2.5	25±2	27±2.5	25±2	
784 (80)	←	784 (80)	←	784 (80)	←	784 (80)	←	
2.0±0.4	←	2.0±0.4	←	2.0±0.4	←	2.0±0.4	←	
—	—	—	—	—	—	—	—	
0.8±0.2	←	0.8±0.2	←	0.8±0.2	←	0.8±0.2	←	
1,000	←	1,000	←	1,000	←	1,000	←	

※ 作業床が格納高さから1 m上昇位置～最大高さまでの間に適用する。

北越工業

適用範囲		モデル名			ENCL068-3 (固定デッキ)		ENCL068S-3 (スライドデッキ)	
		適応号機			～CL683A0633	CL683A0634～	～CS683A0633	CS683A0634～
		最大作業床高さ（m）			6.8	6.8	6.8	6.8
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
電動機	駆動ベルト	駆動用 チェーンのたわみ	右	mm	12±3	←	12±3	←
			左	mm	9±3	←	9±3	←
	バッテリー	電圧		V	24	←	24	←
	ヒューズ	走行・昇降主回路用		A	325	←	325	←
		制御用		A	5	←	5	←
走行装置	履帯 クローラベルト	ゴム クローラ	摩耗量	—	状態により 判断	←	状態により 判断	←
			張り（たわみ量）	mm	15±3	←	15±3	←
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	15	←	15	←
油圧装置	油圧ポンプ	昇降	吐出圧	MPa (kgf/cm ²)	20.2±0.5 (206)	←	20.8±0.5 (212)	←
			作動油	—	VG22	←	VG22	←
			油温	℃	35	←	35	←
	油圧シリンダー	自然降下量	リフトシリンダー (作業床高さ；2m)	mm/10min	11以下	←	11以下	←
安全装置	車体傾斜角警報装置	作動角度		°	1.7±0.2	←	1.7±0.2	←
	過積載 防止装置	上昇可能質量		N	2,450	←	2,450	←
				(kgf)	(250)	←	(250)	←
		上昇規制質量(※)		N	2,940	←	2,940	←
				(kgf)	(300)	←	(300)	←
	作業床 規制装置	格納検知		mm	1,050	←	1,050	←
		走行規制検知		mm	2,000±100	←	2,000±100	←
上限規制検知		mm	6,750～ 6,800	←	6,750～ 6,800	←		
総合テスト	作動速度	昇降	積載質量	N (kgf)	2,450 (250)	←	2,450 (250)	←
			油温	℃	35	←	35	←
			上昇	sec	32 ^{+4.5} _{-2.5}	←	34 ^{+4.5} _{-2.5}	←
			下降	sec	30±2.5	27±2	30±2.5	27±2
		走行	積載質量 (1人乗車相当)	N (kgf)	784 (80)	←	784 (80)	←
			高速	km/h	2.0±0.4	←	2.0±0.4	←
			低速	km/h	—	—	—	—
			非格納状態	km/h	0.8±0.2	←	0.8±0.2	←
	走行直進性			mm/10m	1,000	←	1,000	←

※ 作業床が格納高さから1m上昇位置～最大高さまでの間に適用する。

北越工業

適用範囲		モデル名			ENTL040-3 (固定デッキ)		ENTL040S-3 (スライドデッキ)	
		適応号機			～TL403A0745	TL403A0746～	～TS403A0745	TS403A0746～
		最大作業床高さ（m）			4.0	4.0	4.0	4.0
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
電動機	駆動ベルト	駆動用 チェーンのたわみ	右	mm	5±3	←	5±3	←
			左	mm	5±3	←	5±3	←
	バッテリー	電圧		V	24	←	24	←
	ヒューズ	走行・昇降主回路用		A	200	←	200	←
		制御用		A	5	←	5	←
走行装置	ホイール	ソリッドタイヤ	摩耗量	—	状態により 判断	←	状態により 判断	←
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	8	←	8	←
油圧装置	油圧ポンプ	昇降・操舵	吐出圧	MPa	18.2±0.5	←	18.2±0.5	←
				(kgf/cm ²)	(186)	←	(186)	←
			作動油	—	VG22	←	VG22	←
			油温	℃	35	←	35	←
	油圧シリンダー	自然降下量	リフトシリンダー (作業床高さ；2m)	mm/10min	11以下	←	11以下	←
安全装置	車体傾斜角 安全装置	作動角度		°	1.7±0.2	←	1.7±0.2	←
	過積載 防止装置	上昇可能質量		N	2,450	←	2,156	←
				(kgf)	(250)	←	(220)	←
		上昇規制質量（※）		N	2,940	←	2,587	←
				(kgf)	(300)	←	(264)	←
	作業床規制装置	格納検知		mm	890	←	890	←
		走行規制検知		mm	2,000±100	←	2,000±100	←
		上限規制検知		mm	3,950～ 4,000	←	3,950～ 4,000	←
総合テスト	作動速度	昇降	積載質量	N (kgf)	2,450 (250)	←	2,156 (220)	←
			油温	℃	35	←	35	←
			上昇	sec	20 ⁺⁴ ₋₂	←	20 ⁺⁴ ₋₂	←
			下降	sec	17 ⁺³ ₋₁	21±2	17 ⁺³ ₋₁	21±2
		走行	積載質量 (一人乗車相当)	N (kgf)	784 (80)	←	784 (80)	←
			高速	km/h	3.0±0.5	←	3.0±0.5	←
			低速	km/h	—	←	—	←
			非格納状態	km/h	0.8±0.2	←	0.8±0.2	←
		走行直進性		mm/10m	500	←	500	←

※ 作業床が格納高さから1m上昇位置～最大高さまでの間に適用する。

ホイール式（蓄電池式）

ENTL045-3 (固定デッキ)		ENTL045S-3 (スライドデッキ)		ENTL061S-3 (スライドデッキ)		ENTL080S-3 スライドデッキ	ENTL099S-3 スライドデッキ	
～TL453A1483	TL453A1484～	～TS453A1483	TS453A1484～	～TS613A2786	TS613A2787～			
4.5	4.5	4.5	4.5	6.1	6.1	8.0	9.9	
検 査 基 準 値								
5±3	←	5±3	←	12±3	←	5±3	5±3	
5±3	←	5±3	←	12±3	←	5±3	5±3	
24	←	24	←	24	←	24	24	
200	←	200	←	200	←	325	325	
5	←	5	←	5	←	5	5	
状態により 判断	←	状態により 判断	←	状態により 判断	←	状態により 判断	状態により 判断	
8	←	7	←	12	←	12	12	
18.2±0.5	←	18.2±0.5	←	18.3±0.5	←	20.5±0.5	18.6±0.5	
(186)	←	(186)	←	(187)	←	(209)	(190)	
VG22	←	VG22	←	VG22	←	VG22	VG22	
35	←	35	←	35	←	35	35	
11以下	←	11以下	←	11以下	←	11以下	11以下	
1.7±0.2	←	1.7±0.2	←	1.7±0.2	←	1.7±0.2	1.7±0.2	
2,254	←	1,960	←	2,450	←	2,450	3,136	
(230)	←	(200)	←	(250)	←	(250)	(320)	
2,705	←	2,352	←	2,940	←	2,940	3,763	
(276)	←	(240)	←	(300)	←	(300)	(384)	
890	←	890	←	995	←	1,200	1,320	
2,000±100	←	2,000±100	←	2,000±100	←	2,000±100	2,000±100	
4,450～ 4,500	←	4,450～ 4,500	←	6,050～ 6,100	←	7,950～ 8,000	9,850～ 9,900	
2,254 (230)	←	1,960 (200)	←	2,450 (250)	←	2,450 (250)	3,136 (320)	
35	←	35	←	35	←	35	35	
24 ⁺⁴ ₋₂	←	24 ⁺⁴ ₋₂	←	30 ⁺⁵ ₋₃	←	33 ⁺⁵ ₋₃	48 ⁺⁵ ₋₃	
22 ⁺³ ₋₁	25±2	22 ⁺³ ₋₁	25±2	22±2	24±2	35±3	50±3	
784 (80)	←	784 (80)	←	784 (80)	←	784 (80)	784 (80)	
3.0±0.5	←	3.0±0.5	←	4.0±0.5	←	3.2±0.5	3.5±0.6	
—	←	—	←	2.2±0.4	←	2.5±0.4	2.7±0.4	
0.8±0.2	←	0.8±0.2	←	0.8±0.2	←	0.8±0.2	0.8±0.2	
500	←	500	←	500	←	500	500	

※ 作業床が格納高さから1 m上昇位置～最大高さまでの間に適用する。

高所作業車検査・整備基準値表

平成 12 年 5 月	初版発行
平成 17 年 11 月	改訂 A 版発行
平成 22 年 3 月	改訂 B 版発行
平成 27 年 3 月	改訂 C 版発行
令和 2 年 3 月	改訂 D 版発行

発行 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 3 丁目 7 番 1 号
(ニュー九段ビル 9 階)

電 話 03-3221-3661

FAX 03-3221-3665

URL <http://www.sacl.or.jp>